HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館年報
Issue Date	2016-08
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66858
Type	journal
File Information	nenpo2016.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学

附属図書館年報 2016

Hokkaido University Library
Annual Report

Contents

館長巻頭言 …… 1
平成 27 年度 Topics
1. 教育学習支援 …… 2
2. 研究支援 …… 8
3. 社会貢献と国際化 …… 10
4. その他 …… 14
平成 28 年度重点項目 …… 15
連携事業 …… 17
ガイダンス・講習会 …… 18
活動日誌 …… 19
職員研修 …… 22
統計 …… 23
図書館委員会名簿 …… 27
組織図 …… 28
人事往来 …… 29

北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の４つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標を掲げる。

教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

館長巻頭言

附属図書館年報 2016 年版の刊行に当たって



附属図書館長
新田　孝彦

北海道大学附属図書館の起源は、1876 年（明治 9 年）、札幌農学校の開校と同時に設置された「書籍室」にあり、1891 年（明治 24 年）に「書籍館」主任に就任した新渡戸稲造をもって初代館長としています。以来、附属図書館は、大学の発展と歩みをともにし、現在では総蔵書数 391 万冊余り、電子ジャーナルと電子ブックの提供タイトル数約 4.7 万点、年間入館者数およそ 160 万人を誇る我が国有数の大学図書館にまで成長してきました。

附属図書館の使命は、言うまでもなく、学術情報基盤の中心をなす組織及び施設として、大学の教育・研究・社会貢献を支えるところにありますが、その具体的な在り方は、時代の要請に応じて変化します。大学自体が激烈なグローバル化の渦中にあり、国際的な大競争時代に突入したいま、図書館の果たすべき役割もまた、グローバル人材の育成や世界最先端の研究の推進を支援するというところに重点を置く必要があります。

ところで、研究支援という観点において大学図書館に係わる近年のキーワードは「オープン」という言葉でしょう。学術論文への「オープンアクセス」の重要性についてはつとに指摘されてきましたが、加えて昨今では「オープンサイエンス」という言葉もよく聞かれるようになりました。昨年 3 月に内閣府から「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について」という報告書が出されたことは記憶に新しいところです。「オープンサイエンス」とは、「公的研究資金を用いた研究成果（論文、生成された研究データ等）について、科学界はもとより産業界及び社会一般から広く容易なアクセス・利用を可能にし、知の創出に新たな道を開くとともに、効果的に科学技術研究を推進することでイノベーションの創出につなげることを目指した新たなサイエンスの進め方」を意味するということですから、我が国全体の国際競争力の低下を背景にした、やや功利的な色彩があることは否めませんが、しかしその根底には、社会の公的セクターにおける学術研究のすべては、研究の過程で得られたデータも含めて「公共財」であるという、まっとうな思想があるように思われます。そして、論文や研究データの保存には図書館の役割が大きいことも、当然のことながら指摘されています。

なかでも、同報告書が「市民科学（シチズンサイエンス）」の可能性に言及していることは注目に値します。市民科学への貢献となれば、これは、本図書館が掲げるミッションを統合したような役割を引き受けることになりますから、われわれにはこれまでの機関リポジトリの運営を超えた、より広範な活動が求められることになります。ここには相当に厳しいハードルがあり、少なくとも大学内の各セクターとの連携なしにはこうした活動は不可能ですが、それでもこれが目指すべき方向であるとすれば、できるところから着実に一歩一歩進んで行くことで、大学図書館の新しい将来像を描くことができるようにも思います。

本年報は、昨年度における附属図書館の活動を報告するものです。附属図書館がどのような活動を行ってきたかをご理解いただくとともに、新たな活動に向けて一歩を踏み出すために、関係各位の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

平成 27 年度 Topics

1 教育学習支援

A 学習環境の充実

（1）北図書館西棟オープン

4 月 6 日（月）、北図書館の新棟「西棟」がオープンし、新しい学びの場を提供することとなった。これにより、長年の課題であった座席数の不足が解消されるとともに、アクティブラーニングフロア、グローバルフロア、サイレントフロアが整備され、多様な学びへの対応が可能となった。この結果、平成 27 年度の入館者数は前年度比 16%増となった。

また、オープンに関連するイベントとして、以下を行った。

4 月 6 日（月）

12：00 オープン　テープカット式を実施

5 月 8 日（金）

北図書館西棟オープン・2015 年新渡戸カレッジ開講記念講演会「グローバルキャリアを目指す大学での学び方」を開催

（西棟の概要）

地上 4 階建て

面積：1,555m^2（30.7%増）　閲覧席数：351 席（54.1%増）

1 階（書庫）	・閉架式書庫
2 階（アクティブラーニングフロア）	・アクティブラーニングが可能なフロア。ホワイトボードや可動式の机・椅子を設置。グループでのディスカッションが可 ・講習会等の実施が可能なセミナールーム（2 室）を有する
3 階（グローバルフロア）	・グローバル化の支援を目的とするフロア ・英語多読資料や留学生用図書、語学学習 CD 等を配架 ・発声練習等が可能な語学自習室（5 室）を有する
4 階（サイレントフロア）	・会話禁止。静かに学習するフロア ・100 席以上の個人学習用座席を設置

（2）北図書館開館時間延長（8 月）

北図書館の開館時間は全学教育科目の授業予定に合わせて決定しており、夏季休業期間中は 17 時閉館としていた。しかしながら、夏期休業期間中の開館時間についても、多くの学生から延長を望む声が寄せられていた。

このため平成 27 年度は試行として、夏季休業期間のうち 8 月の平日について開館時間を 19 時まで 2 時間延長するとともに、利用の少ない 2 月後半の開館時間については、22 時から 17 時へ短縮することとした。

この結果、8 月の開館時間は前年度比で 9%増え、入館者数も前年度比 44%増となった。一方、2 月については開館時間が前年度比 14%減に対して、入館者数は前年度比 1%増であった。

本試行は一定の効果があったと判断し、平成 28 年度も継続することとした。

（3）オープンエリアやアクティブラーニングフロア等の施設や設備を活用した学習支援

1）図書館の活動

①イベント



第 4 回国際協力カフェ@北大図書館

グローバル人材育成のためのイベントや、知識の交流等を目的としたイベントを本館オープンエリアや北図書館セミナールームで実施した。多くは学内外の関連組織との連携のもと開催し、多彩なイベントを実施することができた。「海外留学応援イベント『Study in Europe !』」「英語多読マラソン　スタートアップガイダンス」「世界のルールの作り方・使い方　第 1 回」「The 11th “Sci-Tech Talk in English”」「公開トークイベント：国際協力カフェ@北大図書館」等を実施した。

②セミナー・講習会



スタディスキルセミナー

スタディスキルやアカデミックスキル、文献の収集や管理方法について、セミナー、講習会を本館、北図書館

内であわせて 155 回実施した。北図書館の西棟が整備されたこともあり実施回数、参加人数共に大幅に増加した。

③図書展示

多彩な図書展示を行った。例えば、図書館で開催された「公開トークイベント:国際協力カフェ@北大図書館」等のイベントと連動した展示を行うなど、多数のイベントとの相乗効果も得ることができた。

2）施設の貸出

①授業や成果発表会での利用



新渡戸カレッジボランティア報告会

授業等への施設の貸出は、北図書館西棟が完成したこともあり大幅に増加した。通常の授業への貸出はもちろん、各種成果発表会等への貸出も実施した。例えば新渡戸カレッジ科目の一つである「ボランティア」の公開活動報告会には北図書館セミナールームを提供した。

②英語コミュニケーション・英語ライティングクリニック

学習支援関連組織の各種学習支援も図書館内で実施している。例えばラーニングサポート室主催の英語コミュニケーション、英語ライティングクリニックに企画段階から図書館も協力し、場所も北図書館グローバルフロアで実施している。「英語コミュニケーション」は、英語が堪能な留学生チューターを囲み、あるテーマについて英語のみで気楽に会話する、留学を控える人や英会話能力を高めたい人、英語を聴く力をアップさせたい人向けの、少人数ゼミ形式の学習サポートである。「英語ライティングクリニック」は事前に受け付けた英文について、英語ネイティブによる確認・添削を受けることができ、文法・構文のチェック、自然な表現かどうか、構成について、等の観点から、より良い英文へと改善する手助けをする英文添削のサポートを行っている。

B 情報リテラシー教育

情報リテラシー教育支援 WG で実施したセミナー・講習会の実施は前年度に比べ大幅に増加した。実施回数は 161 回から 226 回へ、延べ参加人数は 2,211 人から 3,525 人への増加となった。また、情報リテラシー教育支援 WG の実施体制も強化し、これまで一部の担当者が実施していた業務を情報リテラシー教育支援 WG メンバーがバランスよく担当するようにし、体制の強化と講習会の充実を図った。

（1）アカデミックスキルガイド作成

アカデミックスキルガイドは、本学の学生が、図書館サービスを利用する上で参考となる情報をまとめたリーフレットで「サービス案内編」、「テーマ設定編」、「資料収集編」、「評価・整理編」、「成果発信編」の 5 編から構成されている。合計 50 種類を作成し、館内での配布の他ホームページでも公開した。

（2）初年次学生の授業支援：「図書館情報入門」

初年次学生を対象とした授業への支援は、「図書館情報入門」としてパッケージ化し講義を実施している。学部 1、2 年次におけるレポート執筆に役立つ文献を収集できるようになることを目的としており、合計 48 回実施し 938 人が受講した。本年度はプログラム内容を大幅に変更し、目的・目標の明確化、学習動機付けの強化、アクティブラーニング要素の取り込み等の変更を行った。アンケート結果も受講学生、依頼教員双方から好評だった。

（3）個別の授業やゼミへの支援：「オーダーメイド講習会」

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とする完全オリジナル型の講習会であり、合計 28 回実施し 598 人が受講した。これまで一部の担当者が講師を担当していたが、教員の所属部局の図書室職員等が講師を担当するケースが増加した。また、授業の課題設定から共に教員と検討するケースや、文献管理ツールの使い方に重点をおくケース、部局図書室の案内も実施するケース等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形で実施した。

（4）大学院生向けの外部の専門インストラクターによる支援：「各種データベース講習会」

「EndNote」「SciFinder」「Reaxys」「LexisNexis Academic」等の専門的な知識が必要とされるデータベースについて、外部の専門インストラクターと協働して講習会を実施した。合計 61 回実施し、583 名の参加があった。

（5）自由参加型講習会・セミナー

1）アカデミックスキルセミナー

本学の学習サポート組織であるラーニングサポート室と協働で企画運営する、学習・研究スキルに関するセミナー「アカデミックスキルセミナー」を開催した。「効果的な学習スキルを身につけよう！スタディ・スキルセミナー」「論文・レポート執筆とプレゼン発表へ向けた『研究の始め方・進め方セミナー』」「卒論・修論を乗り切る！これから始める執筆・発表セミナー」等を実施し、レポート・論文のテーマ設定の仕方・書き方、文献の探し方、プレゼンテーションのコツ等を指導するセミナーを実施した。

2）世界のルールの作り方・使い方

法学研究科附属高等法政教育研究センターと共同のワークショップとして、「世界のルールの作り方・使い方」第 1 回「食の安全と国際経済－成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」を開催した。

現代社会が抱える問題と国際法ガバナンスに関わるレクチャーとその資料・情報検索セミナーを連続して開催することで、学内研究者（特に理系）の問題解決に寄与し、さらに学内研究者と法学的知識との繋がりを創出し学内研究基盤の強化に貢献することを目的として実施した。73 名の参加があった。

3）英語論文執筆セミナー

「院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー」を人文社会科学系編、生命科学系編（2 回）、理工学系編の計 4 回開催し、大学院生・博士研究員（ポスドク）を中心に、英語論文指導の体系的な知識に関心をもつ教員等計 424 名の参加があった。

4）国際機関情報の探し方セミナー

国連、EU、OECD 等が発信するニュース、統計、条約、決議等の探し方を紹介するセミナーを実施した。学内のみならず一般の方からの参加もあった。計 11 回開催し、94 名の参加があった。

5）これから論文を書く人のための文献収集セミナー

これから本格的な論文を執筆する文系の学部学生 3 年生～大学院生修士 1 年生向けに、文献収集方法及びその他知っていると便利な図書館サービスを説明する講習会を国内編と海外編に分けて合計 8 回実施し、63 名の参加があった。

（6）教育学習支援　外国人留学生支援「図書館オリエンテーション」

本学に新たに入学した外国人留学生を主な対象として図書館オリエンテーションを実施した。本学英語研究会（ESS）や図書館学生サポーターとの協働により、一部の回では英語で実施し、学生と外国人留学生との交流も図った。なお、実施に際しては、自由参加の回や、国際本部と連携し留学プログラム単位を考慮した回を設定した。

また、文学研究科とは 2014 年後期から、理学研究科とは 2015 年後期から、各部局の留学生担当部署と連携し、留学生の全体オリエンテーション枠内に図書館オリエンテーションの時間を設けてもらっている。それらを含めて前期・後期合わせて 14 回実施し、286 名の参加があった。

参加者の感想：Thank you for the orientation. It is very useful and very helpful to me.

C　グローバル人材育成：「新渡戸カレッジ」支援事業

図書館では、特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」を支援する目的で「新渡戸カレッジ WG」を立ち上げ、グローバル人材育成の一助として、学生が海外で学び、働く意欲を持つ動機付けとなるような事業を企画し実施している。行った主な事業は以下のとおりである。

（1）「めざせ 100 万語！英語多読マラソン」

英語多読とは、英文テキストを自分のレベルに合わせ

て多量に読んでいく学習法である。この企画はメディア・コミュニケーション研究院高見敏子准教授らの協力のもと進めており、読んだ語数によるランキングを多読マラソン参加者のコミュニティサイト内に表示させる等参加者のやる気を引き出し、持続させる仕掛けをもっている。

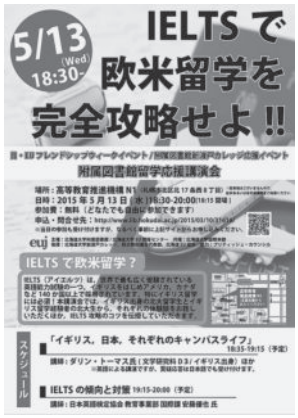
新規参加者は新渡戸カレッジ生 35 名を含む 380 名である。

6 月 30 日（火）に、新規参加者や参加を考えている学生向けに、多読の進め方等を紹介するスタートアップガイダンスを行った。新渡戸カレッジ生 3 名を含む 19 名の参加があった。

なお、本取り組みは本学教育支援業務総長賞（優秀賞）を受賞した。

（2）留学応援講演会「IELTS で欧米留学を完全攻略せよ !! 」

5 月 13 日（水）、高等教育推進機構において、国際本部と共催で開催した。日本英語検定協会で IELTS（アイエルツ）を担当されている安藤優也氏を講師に、イギリスをはじめ、アメリカ、カナダなど 140 ヶ国以上で採用されている英語能力試験 IELTS 攻略のコツを伝授していただいた。また、イギリス出身の北大留学生、及びイギリス留学経験者の北大生から、それぞれの体験談があった。81 名の参加があった。



「IELTS で欧米留学を完全攻略せよ !!」ポスター

（3）Study in Europe


「Study in Europe」で講演するヘルシンキオフィスのサロマ副所長

6 月 15 日（月）、北図書館西棟 3 階グローバルフロアにおいて、国際本部共催、新渡戸カレッジ後援で開催した。第 1 部では、多彩な講師陣によるヨーロッパ留学に関する話題提供として、全般的なヨーロッパ留学の話、北大と交流協定を結んでいるヨーロッパの大学紹介、留学プログラムや奨学金プログラムの紹介、留学先としての北米とヨーロッパの比較などがあった。第 2 部では、実際にヨーロッパ（フランス）に交換留学した北大生の留学体験談があった。最後の第 3 部では、留学に関する個別相談会を行った。51 名の参加があった。

（4）Sci-Tech Talk in English “Welcome to Pluto”



「Sci-Tech Talk in English」で講演するエリザベス・タスカー助教

8 月 19 日（水）、北図書館西棟 2 階セミナールームにて、主催の理学研究院国際化支援室と共催した。

理学研究院物理部門エリザベス・タスカー助教が講師となり、冥王星発見の経緯や、近年新たにつけられた名称「準惑星」の説明、米国 NASA が推進している “New

Horizon”計画について紹介された。86 名の参加があった。

（5）「トビタテ！留学 JAPAN」展示



法学部との渡り廊下で行われた「トビタテ！留学 JAPAN」展示

12 月 1 日（火）～ 17 日（木）、官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」派遣留学生として留学を終え帰国した本学学生 2 名が中心となり、主催した国際本部と共催した。本館玄関ロビー及び法学部との渡り廊下では、それぞれの留学生活の様子や、留学経験から得たことを紹介したポスター展示の他、留学を経験した北大生たちからの留学に関する写真メッセージなどのパネル・映像展示を行った。北図書館 2 階カウンター前では「留学するきっかけになった本」の展示を行った。

D　学生と協力した図書館づくり：学生協働 WG

学生サポーター制度は 3 年目となり、平成 27 年度の登録者数は 20 名であった。主な活動は以下のとおりである。

（1）学生サポーターとのイベント協力開催

1）日・EU フレンドシップウィーク関連企画の実施

6 月 22 日（月）～ 26 日（金）の昼休み、日・EU フレンドシップウィーク関連企画として、イギリスの音楽を紹介する「EU Music Week」を本館メディアコートにて実施した。また 6 月 26 日（金）、北図書館西棟 2 階セミナールームにて、イギリスをテーマとしたビブリオバトルを実施した。

2）物理入門書展示

7 月 7 日（火）～ 8 月 7 日（金）、大学に入って初めて物理学を学ぶことになった学生を支援するため、ラーニングサポート室と連携し、北図書館 2 階カウンター前において実施した。物理学の基本書展示の他、ラーニングサポート室作成のリーフレット「物理のコツ」も展示・配布した。

3）オープンキャンパス図書館ツアー

8 月 2 日（日）、オープンキャンパスの実施に合わせ、本館、北図書館において、図書館ツアーを行った。ツアーの案内役として、学生サポーター 6 名（本館 5 名、北図書館 1 名）が協力した。

（2）学生視点での広報協力

1）選書ツアー及び展示


選書ツアーで本を選ぶ学生サポーター

学生サポーターが書店へ行き、図書館に置きたい本、自分が読みたい本、他の人に読んで欲しい本を直接自分の目で見て選ぶ選書ツアーを 2 回に分けて行った。第 1 回は 7 月 13 日（月）、15 日（水）に行った。第 2 回は 12 月 9 日（水）に行った。ツアーで選ばれ、本館に配架された本はそれぞれ 96 冊、118 冊で、それぞれ 10 月 14 日（水）～ 12 月 7 日（月）、3 月 28 日（月）～ 4 月 28 日（木）に本館オープンエリアで展示された。

2）広報誌への協力

広報誌「楡蔭」のより親しみやすい誌面づくりのため、学生サポーターの他、法学部、理学院、国際広報メディア・観光学院の学生を表紙モデルとして起用し、好評であった。



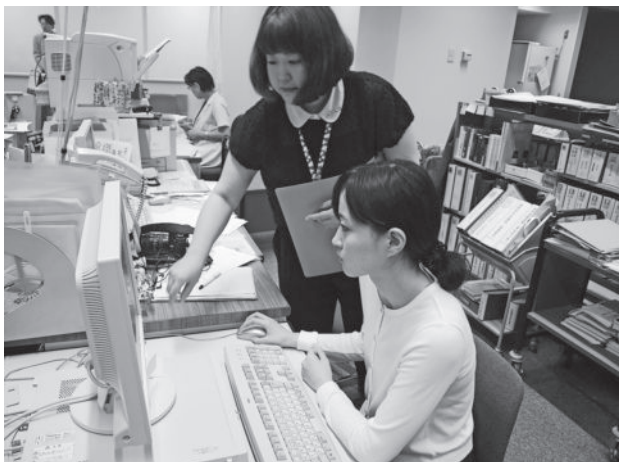
学生を表紙モデルに起用した広報誌「楡蔭」

E 学内ワークスタディ

学内ワークスタディとは、「一定の教育的配慮のもと、学生が学内の業務に従事し報酬を得ることで、必要な学費等を賄いつつ、大学で修学する」ための制度である。対象は授業料免除及び免除相当となっている学部学生であり、本館 15 名、北図書館 16 名を雇用した。

これにより特に西棟オープンで利用者が増加した北図書館では、職員が利用者対応により集中することができた。

F 障がいのある学生への支援



電子化データ作成の様子

特別修学支援室と連携し、障がいのある学生を支援する活動をしている学生や教職員、外部の専門業者等の幅広い参加者とともに計 5 回の修学支援懇話会を開催し、支援策の検討等を継続して行った。

6 月には、第 66 回北日本図書館大会・第 57 回北海道図書館大会（6 月 25 日（木））において、分科会「プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化サービス」を企画し運営した。

11 ～ 12 月には、講義「学びのユニバーサル・デザイン入門」（特別修学支援室の支援学生の研修を兼ねた授業）の「プリント・ディスアビリティに関する情報保障」のうち 2 コマで電子化の法的な知識と具体的な作業について講義した。

一方で、プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化作業を試行として継続した。「図書館の障害者サービスにおける著作権法第 37 条第 3 項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン」に基づき、登録利用者の大学院生 2 名からの依頼のうち、49 件を完了した。出版者から電子版を無償提供いただいたものが 15 件で、残りの 34 件（図書 33 件、雑誌論文 1 件）について電子化作業を行った。形式は PDF15 件、テキスト 19 件であった。

試行での電子化作業により、手順の確認、コストの試算、課題の確認ができた。平成 28 年度は、障がいのある学生の支援活動をしている学生や「学びのユニバーサル・デザイン入門」受講生等の協力を得て本格実施する。積極的な広報で潜在的な利用学生を掘り起こしたい。

電子化されたデータの相互利用や国立国会図書館の「視覚障害者等用データの収集および送信サービス」への参加など、取り組みたい課題も多い。他大学・他機関と情報交換をして問題解決を図り、よりよいサービスの提供を目指す。

2 研究支援

A 研究者向け講習会の実施

（1）英語論文執筆セミナー

人文社会科学系編、生命科学系編（2 回）、理工学系編の計 4 回開催し、大学院生・博士研究員（ポスドク）を中心に、英語論文指導の体系的な知識に関心をもつ教員等計 424 名の参加があった。人文社会科学系編は、社会科学実験研究センター・大学力強化推進本部 URA ステーション・図書館が共催（文学研究科後援）した。生命科学系編、理工学系編は、URA ステーション・図書館が共催した。それぞれ SAGE Publications、カクタス・コミュニケーションズ株式会社の講師による英語論文の書き方についての講演及び図書館からオープンアクセスの基礎知識に関する説明等を行った。

（2）新任教員向けキャンパスツアー実施

8 月 11 日（火）、高等教育研修センター主催の「新任教員向けキャンパスツアー」内で「教育・研究に役立つ図書館の活用法について」と題して説明した。図書館の施設紹介やデータベースの紹介、図書の購入方法、HUSCAP の登録方法など、教員に役立つ図書館サービスを説明した。

B 学術研究コンテンツの整備

（1）バックファイルの整備について

電子ジャーナルバックファイルの整備充実によって、研究者は、カレントな研究成果だけではなく過去の研究成果にもアクセスすることが可能となり、教育研究活動の活性化が期待できる。本学では、バックファイル整備計画に基づき整備を進めている。

平成 27 年度は Oxford University Press（以下 OUP）ジャーナルコレクションの全分野バックファイルのアップグレード分（2007 年～ 2009 年に OUP コレクションに追加された 19 タイトルのバックファイル）を特定経費により買取方式で導入した。

（2）平成 28 年度学術研究コンテンツの整備について

平成 28 年度学術研究コンテンツの選定方針に基づき、費用対効果が良好でない等の中止基準に該当するコンテンツについて、電子ジャーナル個別契約誌 16 点の特定経費による購入を中止した。

（3）オープンアクセス論文の投稿支援について

通常、電子ジャーナル論文をオープンアクセスによって出版する場合には、出版社に対する一定の費用の支払いが発生するが、本学では、費用の無料化や割引のプログラムに参加することでオープンアクセス論文の投稿支援に取り組んでいる。

具体的には、平成 26 年より Royal Society of Chemistry への投稿論文を無料でオープンアクセス化できる「Gold for Gold」プログラムに参加し、平成 27 年は 22 本の本学研究者投稿論文がオープンアクセスとなった。

C 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年 5 月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については 4 件の申請があり、そのうち 1 件を採択した。

・東ドイツ工業管理史論／白川欽哉

また、欧文誌については、文系 8 部局を対象に募集を行い、以下の 3 誌を採択した。

・“Eurasia Border Review”（スラブ・ユーラシア研究センター）
・“Journal of Applied Ethics and Philosophy”（文学研究科）
・“Journal of the Graduate School of Letters”（文学研究科）

前年度採択分の図書である増山浩人氏の『カントの世界論』及び教育学研究院辻智子准教授の『紡績女性労働者の生活記録運動』を、11 月に北海道大学出版会から刊行した。

平成 27 年度までに図書を 12 冊、欧文誌を 4 誌刊行している。刊行した著作は本館の教員著作物コーナー及び北図書館で利用可能である。また、欧文誌については HUSCAP に掲載し国内外へ発信している。

D 北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）HUSCAP10 周年

「北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）」の運用開始から 10 周年を迎えるにあたり、本学研究者及び学生を対象とした HUSCAP とオープンアクセスに関

する周知活動を通し、 オープンアクセスに対する理解と学術成果のセルフ・アーカイビングの促進を図ることを目的として、HUSCAP10WG を設置し活動した。

（1）研究室訪問

研究者に対する HUSCAP の認知向上、投稿論文増加、また HUSCAP への要望やオープンデータ等に対する情報収集のため、10 回の研究室訪問を実施した。

研究者からの意見：

・ダウンロード通知メールは見ていて面白くて良いサービス。

・図書としても刊行しているが（冊子には数に限りがあるので）、HUSCAP に載せたおかげで、より多くの人に読んでもらえた。

（2）「博士論文インターネット公表」説明会、オープンアクセスに関する説明会の開催

博士論文のインターネット公表やオープンアクセスへの理解を深め、HUSCAP での論文公開を促進するため、9 回の説明会を開催した。

（3）新しい広報資料の作成

研究者のさらなる HUSCAP 活用を促すため、新しい広報資料を作成し、全学の研究者に向けて配付した。

（4）HUSCAP 運用 10 周年記念イベント等の実施

7 月 20 日（月）に運用 10 周年を迎えた HUSCAP の記念企画として、パネル展示を開催した。

パネル展示

「HUSCAP の 10 年のあゆみと、今を取り巻く状況、そしてこれからの HUSCAP」

7 月 27 日（月）～ 8 月 13 日（木）：本館玄関ロビー

8 月 25 日(火)～ 10 月 1 日(木)：工学研究院中央図書室

（5）オープンアクセス・ウィークへの参画

国際オープンアクセス・ウィークと本学サステナビリティ・ウィーク企画として、図書館展示を実施し、しおりとブックカバーの配布も行った。

パネル展示

「学術成果のオープンアクセスと HUSCAP」

10 月 19 日（月）～ 11 月 2 日（月）：本館玄関ロビー

（6）北海道地区機関リポジトリ実務担当者研修の実施

道内の機関リポジトリの実務担当者が、共通の課題として持っているコンテンツの収集と広報についてワークショップ形式で共に考え、道内機関リポジトリ担当者の人的ネットワーク醸成の機会とすることを目的とした研修を実施した。

北海道地区機関リポジトリ実務担当者研修

「今更聞けない機関リポジトリのコンテンツ収集と広報」（2 月 12 日（金）：大会議室）

（7）HUSCAP ツイッター運用開始

HUSCAP へ最近登録された文献、機関リポジトリの情報、著作権等についての情報発信を行うため、ツイッターの運用を開始した。

ツイッターアカウント URL

https://twitter.com/huscap

E 遡及入力事業

遡及入力事業は、図書業務の電算化（昭和 61 年）以前に受入した資料について、遡って蔵書目録データベース化する事業であり、昭和 62 年に第 1 期を開始した。

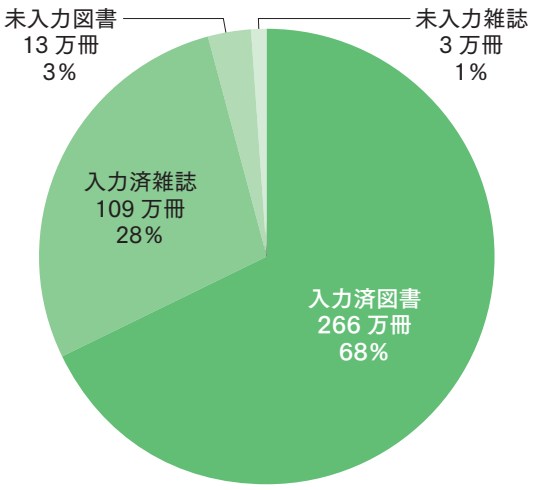
平成 27 年度（第 6 期最終年度）の入力・作業冊数は、以下のとおりである。

(1) 資産受入をしたが蔵書目録データベースに未入力の図書・製本雑誌	4,089 冊
(2) 蔵書目録データベースへ入力希望図書	4,530 冊
(3) 書誌・所蔵データの品質向上作業	1,210 冊
合計	9,829 冊

実施した主な部局は、本館、農学研究院、工学研究院、スラブ・ユーラシア研究センターとなっている。

全蔵書約 391 万冊のうち 96％が入力済となり、残るは 4％の約 16 万冊である。平成 28 年度は引き続き第 7 期遡及入力を開始した。

蔵書 391 万冊の入力状況



3 社会貢献と国際化

A 古典籍資料等の電子化・公開

（1）古典籍の電子化



北蝦夷餘誌／松浦武四郎著

図書館では、国文学研究資料館と共同し、本館所蔵の古典籍（江戸時代末までに日本人により書かれた書物のこと。歴史的典籍、国書ともいう）480 点（1,882 冊、96,066 コマ）について電子化を行った。

これは、古典籍の研究をテーマに、国文学研究資料館を中心に国内 20 の拠点大学が協力して進めている大型事業、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」プロジェクト（平成 26 年～ 35 年）の一環である。

このプロジェクトでは、国内外の大学等が連携して古典籍約 30 万点の電子画像データベースを作成し、国際共同研究のネットワークを構築。インターネットを通じて世界中のどこからでも古典籍の内容にアクセスできることを目指しており、その研究分野は人文学全体、さらには自然科学の諸分野にも及ぶ。

これにより古典籍研究の飛躍的な発展が見込まれるだけでなく、原資料の破損・劣化・消失といった文化財危機への対応及び社会の日本文化に対する関心が高まることが期待される。

国文学研究資料館では、これらの画像情報を世界に配信するため公開系システムを導入し、平成 29 年 4 月以降に順次データを公開していく予定である。

（2）北方資料企画展示

北方資料 WG による企画で、研究開発室室員の文学研究科谷本晃久准教授の協力で、本館玄関ロビー展示を行った。

1）「北大の英語教育」展

本館玄関ロビー　4 月 1 日（水）～ 6 月 30 日（火）
来場者：255 名

北海道大学の起源は、明治 9 年に開設された札幌農学校に遡るが、農業専門家の育成にとどまらず、全人教育を謳い、当初から英語で書かれた教科書を使い、外国人教師による英語を用いた授業が行われていた。①札幌農学校初期の英語教育、②北大卒業生たちの英語英文学分野での活躍、③現在の図書館での英語学習支援サービス、の 3 つのテーマで構成し、明治の時代からグローバル化を実践してきた先人の姿に触れ、脈々と続く英語教育を知ることを目的として企画した。

2）「北海道の地名」展

本館玄関ロビー　7 月 1 日（水）～ 9 月 30 日（水）
来場者：444 名（アンケートシール貼付式）

北海道の地名にはアイヌ語に由縁するものが多く、地名に目を向けると、自然や人の暮らし、歴史が立ち上がって来る。北海道を 14 の地域に分け、いくつかの地名を紹介することで、北海道の“地”のイメージを広げる一助となることを目的として企画した。

3）「北の植物学者　宮部金吾展」

本館玄関ロビー　10 月 1 日（木）～ 1 月 31 日（日）
来場者：355 名（アンケートシール貼付式）



「北の植物学者　宮部金吾展」ポスター

札幌農学校の 2 期生といえば、新渡戸稲造、内村鑑三等多くの著名人がいるが、その中でも宮部金吾は、生涯にわたり本学と関わりをもち、その発展に多大な貢献をした人物である。植物園の設計、北海道東部・南千島への植物採集旅行、「札幌博物学会」会長や植物園長への就任、『北海道主要樹木図譜』の刊行等、植物学分野での活躍は数知れない。北方資料を通して、今一度その足跡を振り返り、多くの人に知ってもらうことを目的として企画した。

4)「所蔵資料で見る知里真志保博士の生涯と仕事」展

本館玄関ロビー　2 月 1 日（月）～ 3 月 27 日（日）
来場者：137 名（アンケートシール貼付式）

本学文学部教授を務めた知里真志保博士（1909 ～ 61）の研究は、アイヌ語のみならずアイヌ文化全般に及び、その成果は日本におけるアイヌ文化研究の礎となっている。本学にはその貴重な研究成果が、書籍、学位論文、音声資料等で残されている他、博士の旧蔵書は「知里真志保文庫」として附属図書館貴重資料室に保管され、国内外のアイヌ文化研究者の関心を集めている。その貴重な研究成果や旧蔵書を紹介することを目的として企画した。

（3）展示アーカイブの公開





「平成 27 年度　新渡戸基金研究助成（公益財団法人北海道大学クラーク記念財団）」の支援によりデジタルアーカイブを作成し、平成 28 年 2 月 16 日（火）に公開した。画像 60 点を公開している。

展示アーカイブサイト
http://www2.lib.hokudai.ac.jp/archive/

（4）北方資料の放映・掲載許可状況

全国からの依頼による放映や図書等への写真掲載等の許可件数は 217 件あり、資料点数としては 1,323 点であった。内訳は以下の通り。

・放映許可件数：　65 件　　資料数：　231 点
・掲載許可件数：152 件　　資料数：1,092 点

利用の多かった資料は以下の通り。

資料名	請求記号	許可件数
・札幌区全景　明治 12 年の札幌	A（b）360	15
・開拓判官島義勇	道史 3-19	15
・札幌官宅本通ヨリ東ヲ望ム（田本研造）	A（b）33	14

札幌の開拓に関するものが多かった。


札幌区全景　明治 12 年の札幌


開拓判官島義勇

放映申請は、北海道ローカル局から在京キー局・BS 放送局まで幅広い番組からあった。新渡戸稲造に関する写真も申請が多かったが、所蔵写真の種類が多くあるため 1 点あたりの申請数では上位にはならなかった。

掲載申請では、島義勇・黒田清隆・村橋久成など幕末志士の肖像に多くの依頼があった。また、リニューアルオープンした北海道博物館をはじめ、全国各地の博物館・郷土資料館等からも常設・特別展を問わず年間を通して申請があった。特に 2018 年が明治維新から 150 周年のためカウントダウン事業を行っている鹿児島からの依頼が多かった。開拓使時代の貴重な写真や古地図には、ジャンルや時期を問わず申請がある。

B　国際連携強化

図書館は、日本で 3 番目の国連寄託図書館であり、日本で 8 番目の EU 情報センター（EUi）でもある。そのため、国連および EU のアウトリーチ活動への貢献に努めている。

（1）公開トークイベント：国際協力カフェ＠北大図書館

1）第 3 回

11 月 10 日（火）～ 11 月 28 日（土）、国連の開発目標が、MDGs（ミレニアム開発目標）から SDGs（持続可能な開発目標）へ変化したことに因み、関連する図書やパネル等を展示した。また、11 月 28 日（土）には、国連フォーラムの学生による「スリランカ・スタディ・プログラム」での活動報告と、SDGs に関するグループディスカッションの 2 部構成で公開イベントを開催した。学生、教職員、市民合わせて 46 名の参加があった。

参加者の感想：

・自分で考えることの重要さを感じた。

2）第 4 回

1 月 19 日（火）～ 2 月 19 日（金）、JICA 青年海外協力隊 50 周年を記念した図書展示、パネル展示及び講師の企画による図書展示と写真展示を実施した。

2 月 12 日（金）には、講師に JICA 事業等で国際協力経験のある本学学生 1 名、本学卒業生 2 名を迎え、JICA 北海道と講演会を共催した。学生、教職員、高校生を含む市民合わせて 46 名の参加があった。

参加者の感想：

・実際に現場で活動した人から直にお話が聞けて良かった。

（2）国際機関情報の探し方セミナー

国連、EU、OECD、国際統計等をテーマに、主に無料の WEB ツールを活用して国際的な情報の収集方法に関するセミナーを、本学学生のみならず一般にも対象を広げて 4、6、11 月に開催した。内訳は、国連編 2 回、EU 編 2 回、OECD 編 2 回、統計編 5 回の計 11 回であった。

このうち OECD 編は、OECD 東京センター高橋しのぶ氏を講師として招聘し、それ以外は図書館職員が講師となった。延べ 94 名の参加があった。

（3）世界のルールの作り方・使い方 第 1 回食の安全と国際経済

7 月 3 日（金）、法学研究科附属高等法政教育研究センターと共同のワークショップとして、「世界のルールの作り方・使い方」第 1 回「食の安全と国際経済－成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」を開催した。

これは、教員による研究レクチャーと図書館職員による関連資料の情報検索セミナーを融合させるという初の試みであった。学生、教職員、市民等合わせて 73 名の参加があった。

参加者の感想：

・国際ルールについてわかりやすく解説されていた。

・資料検索の説明が丁寧で分かりやすかった。

（4）国立大学図書館協会海外派遣事業による活動報告

1）マサチューセッツ大学アマースト校訪問調査



マサチューセッツ大学アマースト校　W.E.B. Du Bois Library 外観

11 月 2 日（月）～ 19 日（木）、城恭子（利用支援課）がアメリカのマサチューセッツ大学アマースト校図書館を訪問した。この訪問は、同図書館との間で締結された図書館交流に関する協定に基づく人事交流の第一号である。

マサチューセッツ大学は 5 つのキャンパスから成る州立大学であり、その中でもマサチューセッツ州アマーストにキャンパスを置くアマースト校は、その規模や歴史的な経緯からマサチューセッツ大学の旗艦校として知られている。滞在期間中は、同校の近隣に位置するハンプシャー大学、アマースト大学についても、それぞれ半日ずつ訪問する機会を得た。両校はいずれも比較的小規模な大学であるが、ともに全米有数のリベラルアーツカレッジとして知られている。

今回の訪問では、アメリカの大学図書館において学習支援業務担当者に求められるスキルや、それを習得するための研修の実態に関する調査を主な目的とした。また、

教員、学生、学内の学習支援系組織をはじめとするステークホルダーと大学図書館との協働による学習支援サービスの先行事例についても調査した。具体的な手法としては、マサチューセッツ大学アマースト校を中心に、主に学習支援を担当するライブラリアンや、学習支援系組織に所属するスタッフ等合計 52 名を対象に、インタビューによる聞き取り調査を行った。

調査を通して、今後も継続的に情報交換を行うことができる人的ネットワークを形成できたことは、大きな収穫であった。また、アマースト校側も今回のような実務研修形式で海外の図書館職員を受け入れたのは初めてのケースだということであり、日本のほうが先行していると思われる事例もあり、国を超えた課題やグッド・プラクティスの共有というメリットもあることから、実務担当者の人事交流については好意的な意見を多く寄せていただいた。

2）GL17、GreyForum4.1 参加報告



GL17 の全体セッションでの発表

11 月 30 日（月）～ 12 月 2 日（水）、磯本善男（利用支援課付－派遣時）が、オランダのアムステルダムで開催された灰色文献の国際会議である GL17（17th International Conference on Grey Literature）とそのプレカンファレンスである GreyForum4.1 に参加した。

従来、灰色文献とは学会資料やテクニカルレポートのような、流通量が少なく入手が難しい文献のことであったが、この会議では“A New Wave of Textual and Non-Textual Grey Literature”という標題のもと、従来のようなテキスト形態だけでなく、研究論文の基となった研究データ等も含めた全ての学術情報に関する取組みについて、4 つの全体セッションとポスターセッションが行われた。ETD（電子学位論文）や、近年研究の場でもその存在感が増してきているソーシャルメディア、そして世界各国の研究機関での様々な取り組みが、プレゼンテーションとポスターセッションで発表された。

研究データはそれぞれに適したフォーマットで保存・公開する必要がある。PDF で統合してしまえば扱いは容易になるが、データの長期的保存や再利用という点では PDF は適した形式とはいえない。欧米では研究データを保存・公開するための ZENODO や DATAVRSE といったデータリポジトリも活用されるようになっており、本文と研究データを別のリポジトリに登録し、固有の識別子でリンクさせるモデルも紹介された。

全ての学術情報を保存・公開を促進しようとするこれら取り組みは、現在日本でも活発になりつつあるオープンサイエンスにとって、非常に有用なものである。オープンサイエンスの流れを加速させるためには、研究者と図書館職員の更なる連携が必要であると強く感じた。

なお、これら 2 件の海外派遣についての報告は「大学図書館研究」に掲載予定である。

4 その他

A 外部資金の獲得

札幌農学校に関する資料の電子展示アーカイブ作成のため、北海道大学クラーク記念財団新渡戸基金研究助成から外部資金 496,800 円を得た。研究課題は「仮想的な展示空間として電子展示アーカイブサイトを構築し、札幌農学校に関する資料や研究成果を広く学内外に公開する」であった。なお、本成果については、p.11「展示アーカイブの公開」記載のとおりである。

また、公益財団法人札幌国際プラザの「グリーン MICE サポート」から 50,000 円を獲得した。これは、環境配慮型の会議運営に取り組む主催者に交付されるもので、11 月 28 日（土）に開催した公開トークイベント「第 3 回国際協力カフェ@北大図書館」の運営に使用した。

本トークイベントでは、ブランケットの貸出や配布資料の節減等、参加者とともに環境配慮の取り組みを行った。

B 研究開発室活動報告

（1）北方資料と谷本晃久室員

北方資料担当では室員から専門的知識を提供していただき、北方関係の古書等貴重な資料について、研究者と連携して計画的な収集を行い、北方資料の充実を図っている。平成 27 年度は、北海道庁拓殖課編五万分一地形図等の文書を購入した。また、北方資料 WG では室員による展示企画でのアドバイスにより「北大の英語教育」展等を行った。また北方資料 WG メンバーとの学習会での講師や外部資金獲得に関する助言など、多大な協力をいただいている。

（2）HUSCAP と行木孝夫室員

科学研究費報告書のオープンアクセス推奨に対応すべく、HUSCAP に掲載する対象論文のメタデータに科学研究費課題番号を記載できないか検討した。検討に当たっては、日本学術振興会や国立情報学研究所で提供している共用リポジトリサービス「JAIRO Cloud」の動きも考慮した。

室員との協働の結果、HUSCAP の改修は容易であり、ローカルのメタデータとして科学研究費課題番号を持つことは可能であることが分かった。しかし、リポジトリコンテンツをハーベストする国立情報学研究所サイドのメタデータフォーマット（Junii-2）に科学研究費課題番号を持たせることができないため、時期尚早であると判断した。

（3）学習支援と重田勝介室員

文献の探し方に関する 3 点の e ラーニング教材（「論文の探し方」「図書の探し方」「図書館の便利なサービス」合計 25 分程度）を室員と図書館とで作成し、北海道大学オープンコースウェアで公開した。また、公開にあたっては別途高等教育研修センター、ラーニングサポート室が作成したスタディスキルに関する e ラーニング教材「『スタディスキル』自習用補助教材シリーズ」の「プレゼンテーションの“技法”基礎編」「レポート作成の“技法”基礎編」と共に同シリーズの一つとして公開した。

図書館、オープンエデュケーションセンター、それぞれ単独では費用、スキル共に困難であった e ラーニング教材を作成することができた。また、高等教育研修センター、ラーニングサポート室と協働することにより、より効果的な教材の周知ができる体制を整えた。

（4）留学支援と正木幹生室員

図書館が実施する学生の英語力や国際感覚の涵養の支援、世界で活躍するためのモチベーションを高める活動等について、室員にその企画や効果的な実施等に関する助言をいただき、協働して企画・実施した。

具体的には、留学応援講演会「IELTS で欧米留学を完全攻略せよ‼」におけるイギリス留学体験談の発表者として、室員が担当する留学プログラム「ファースト・ステップ・プログラム」参加学生の紹介の他、室員が担当している「北大生を『グローバルに活躍する』気にさせるセミナー」（計 2 回）と連携する形で、本館において資料展示を行った。また、「国際協力カフェ」（計 2 回）では、報告者や講師の紹介とともに、企画段階から助言をいただいた。その他、関連する事業・イベント等について、相互に広報協力を行った。

平成 28 年度重点項目

1 ラーニングサポート室等の関係部局と連携し、学生の自主的な学習やグローバル化を支援するイベントの開催

（1）自主的な学習の支援

1）ラーニングサポート室との連携

ラーニングサポート室と連携し、学部学生、大学院生向けの勉強や研究に役立つスタディスキルやアカデミックスキルの向上を目的としたアカデミックスキルセミナーを引き続き開催する。「スタディ・スキルセミナー」「研究の始め方・進め方セミナー」「文献の収集と管理のセミナー」等を実施する。

2）法学研究科との連携

①世界のルールの作り方・始め方

高等法政教育研究センターとの共同ワークショップを引き続き開催する。現代社会が抱える問題と国際法ガバナンスに関わるレクチャーとその資料・情報検索セミナーを連続して開催することで､学内研究者（特に理系）の問題解決に寄与し、さらに学内研究者と法学的知識との繋がりを創出し、学内研究基盤の強化に貢献することを目的とする。

②文献収集セミナー　法学編

法学政治学資料センターと協力し、文献収集セミナー（法学編）を開催する。法情報の基礎的な探し方を法学政治学資料センターと図書館のスタッフが相互補完しながらレクチャーする講習会を実施する。

3）URA ステーションとの連携

英語論文執筆に関する支援方法を URA ステーションと検討する。昨年度実施した「英語論文執筆セミナー」や「英語論文執筆ワークショップ」をベースとし、アンケート結果等も踏まえながらプログラムの検討を行う。

4）オープンエデュケーションセンターとの連携

オープンエデュケーションセンターの協力を得て作成したｅラーニング教材（「図書館情報入門」内容相当）を、授業の補助教材や予習・復習として活用してもらえるよう、高等教育研修センターやラーニングサポート室と協働し、教員等へ案内する。

5）授業との連携

オーダーメイド講習会の実施体制を強化しつつ、教員への案内も強化する。法学政治学資料センター等外部組織との協働開催も検討、実施する。

（2）グローバル人材育成支援

1）グローバルな学びや国際感覚の涵養に資するイベントの開催

語学力や国際感覚を磨き、留学や国際協力等のグローバルな海外での活動のきっかけとなるようなイベントを実施する。これまでの「国際協力カフェ@北大図書館」「海外留学応援イベント “Study in Europe !”」等の講演会やイベントを継続実施する。

2）国際機関情報の探し方セミナー

グローバルな課題をより深く知るために役立つ、国際機関情報の探し方セミナーを実施する。国連等の国際機関の文書や国際的な統計の情報収集スキルを得ることを目的とする。

（3）知の交流・創生の場としての機能

他部局や教員・学生等と協働し、授業や成果発表等の場として活用してもらうことで、図書館を「知の交流・創成の場」として機能させる。施設利用のルールを策定し、案内用 WEB ページを整備して学内に広く周知することで利用を促進する。図書館という全学共通の知的基盤である場所の特性を活かし、図書館だけに留まらない学内の多種多様な知が交流する場を実現することで、学習支援やグローバル人材育成支援の活性化を目指す。

1）他部局等主催イベント等による施設の活用

「知の交流・創生の場」の創出という趣旨に合致する他部局等のイベント等による施設の活用を推進する。昨年度北図書館で実施した理学研究院国際化支援室主催の英語によるトークイベント「第 11 回 “Sci-Tech Talk in English”」と同様のイベントに継続して協力する。

2）学生の成果発表等の場としての施設の活用

学生の成果発表等の場として図書館を活用してもらうことで、学生の主体的な学習を支援する。

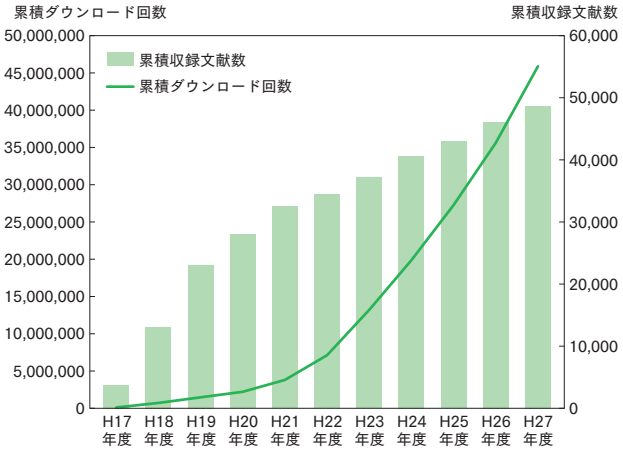
2 HUSCAP を通じて教育研究成果の社会への発信

HUSCAP を通じて教育研究成果の社会への発信を行う。特に、教育研究成果のオープン化について、研究者の理解の獲得に努めることにより一層の参画を促す。

（1）登録公開状況

平成 27 年度の新規登録公開は、2,592 件、累積収録文献数は 48,701 件、最近 5 年間の平均収録文献数は 2,845 件、累積ダウンロード数は、45,879,828 件である。

累積収録文献数及び累積ダウンロード数



（2）28 年度年度計画数値目標と実施計画

1）年間 3,000 件のコンテンツ増加

現在学内研究者の学術論文を Web of Science を用いて捕捉し、HUSCAP への登録を促しているが、年間 3,000 件のコンテンツを増加させるため、日本語文献の登録が重要である。そのため、CiNii を用いた論文の捕捉を行う。

また、部局等図書室の HUSCAP 担当者との情報共有や意識の統一化を図り、研究室訪問（インタビュー）等をより積極的に進める。

さらに、学内出版の紀要等で HUSCAP 未掲載のものについては、教育研究成果のオープン化の意義と有用性について、紀要の編集委員会に積極的に働きかけ HUSCAP での公開を目指す。

2）オープンサイエンスワークショップ等を 3 回開催

教育研究成果のオープン化について、一層の理解を深めるためにオープンサイエンスワークショップ等を年度内に 3 回実施する。

オープンサイエンスワークショップ年間テーマ
「北海道大学オープンサイエンス元年」

第 1 回テーマ　「オープンサイエンスとは何か」
第 2 回テーマ　「国内外のオープンサイエンスに関する動向と展望」
第 3 回テーマ　「北海道大学におけるオープンサイエンスの状況と展望」

対象者：研究者、研究支援系職員、図書系職員

連携事業 平成 27 年度

No.	時期	内容	連携・連携先	学内外	備考
1	4/1	北海道立図書館北方資料デジタル・ライブラリーとの連携	北海道立図書館	学外	
2	4/20 ～ 4/24、4/27 ～ 4/28、4/30 ～ 5/1	スタディスキルセミナー　効果的な学習スキルを身につけよう！　全 18 回	ラーニングサポート室	学内	
3	4/20、4/22、6/9、6/16、6/17	「国際機関情報の探し方セミナー：国連編、EU 編、OECD 編」（本館）全 6 回	OECD 東京センター	学外	Facebook 4/21、4/23
4	5/8	北図書館西棟オープン・新渡戸カレッジ開講記念講演会「グローバルキャリアを目指す大学での学び方」（北図書館）	新渡戸カレッジ	学内	北大時報 735 号／Facebook 5/21
5	5/13	日・EU フレンドシップウィークイベント／新渡戸カレッジ応援イベント講演会「附属図書館留学応援講演会：IELTS で欧米留学を完全攻略せよ！！」	国際本部、新渡戸カレッジ、駐日欧州連合代表部、北海道 EU 協会、ブリティッシュ・カウンシル	学内／学外	北大時報 735 号／Facebook 5/7
6	5/25	日・EU フレンドシップウィークイベント「EURAXESS Links Japan Tour 2015」	URA ステーション	学内	
7	6/10 ～ 6/19	図書展示「グローバル社会における防災」	国際本部	学内	Facebook 6/12
8	6/15	新渡戸カレッジ応援イベント「Study in Europe !」	国際本部、新渡戸カレッジ、文学研究科国際交流室、理学研究院国際化支援室	学内	北大時報 736 号
9	6/16、6/18、6/23、6/25、6/30、7/2	論文・レポート執筆とプレゼン発表へ向けた　研究の始め方・進め方セミナー　全 12 回	ラーニングサポート室	学内	Facebook 6/10
10	6/30	英語多読マラソンスタートアップガイダンス（北図書館）	メディア・コミュニケーション研究院　高見敏子准教授	学内	北大時報 737 号
11	7/3	「世界のルールの作り方・使い方　第 1 回：食の安全と国際経済：成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」	法学研究科附属高等法政教育研究センター	学内	Facebook 7/6
12	7/7 ～ 8/7	物理入門書展示（北図書館）	ラーニングサポート室	学内	Facebook 7/7
13	8/11	第 2 回新任教員向けキャンパスツアー（北図書館）	高等教育研修センター	学内	北大時報 738 号
14	8/19	新渡戸カレッジ応援イベント講演会「第 11 回 Sci-Tech Talk in English」	理学研究院国際化支援室	学内	北大時報 738 号／Facebook 8/6、8/20
15	8/21	図書館情報入門　授業コンサルテーション	高等教育研修センター	学内	
16	8/26	札幌市立高等学校職場体験学習（2 名）（北図書館）	札幌清田高等学校	学外	北大時報 739 号
17	9/7 ～ 2016/1/30	歴史的典籍データベース構築事業	国文学研究資料館	学外	
18	9/16	札幌市立高等学校職場体験学習（6 名）（北図書館）	札幌新川高等学校、札幌旭丘高等学校	学外	北大時報 739 号
19	9/25 ～ 10/18	TEDxHokkaidoU 関連図書・ポスターパネル展示	TEDxHokkaidoU	学内	
20	10/5 ～ 10/9、10/13	スタディスキルセミナー　2 学期開始！レポートの書き方をマスターしよう！　全 12 回	ラーニングサポート室	学内	Facebook 10/14
21	10/6 ～ 27	いいね！ Hokudai と附属図書館 Facebook の連携記事掲載	CoSTEP	学内	
22	10/11	TEDxHokkaidoU 2015 カンファレンス同時中継	TEDxHokkaidoU	学内	
23	10/15 ～ 10/22	図書展示「グローバル社会における公衆衛生」	国際本部	学内	
24	10/19 ～ 11/2	サステナビリティ・ウィーク企画　図書館展示「学術成果のオープンアクセスと HUSCAP」	北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局	学内	
25	10/20 ～ 1/26	英語コミュニケーション／英語ライティングクリニック	ラーニングサポート室	学内	
26	11/10 ～ 11/28	パネル展示・図書展示「SDGs を知る」	国際本部、国連フォーラム、国際協力機構北海道国際センター（JICA 北海道）、北海道総合政策部知事室国際課、札幌国際プラザ、日本国際連合協会北海道本部	学内／学外	
27	11/10 ～ 11/28	写真展示「国連フォーラムとスタディ・プログラム」	国際本部、国連フォーラム、国際協力機構北海道国際センター（JICA 北海道）、北海道総合政策部知事室国際課、札幌国際プラザ、日本国際連合協会北海道本部	学内／学外	
28	11/12	院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー　人文・社会科学系編	社会科学実験研究センター・大学力強化推進本部　URA ステーション・文学研究科	学内	Facebook 10/21、11/16
29	11/13	第 2 回新渡戸カレッジボランティア体験報告会（北図書館）	新渡戸カレッジ	学内	Facebook 11/16
30	11/25 ～ 11/26	院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー　全 3 回	大学力強化推進本部　URA ステーション	学内	Facebook 10/21、11/16、12/2
30	11/28	第 3 回国際協力カフェ「国連フォーラム　スリランカ・スタディ・プログラム報告会：SDGs から考える、セカイの未来わたしの未来」	国際本部、国連フォーラム、国際協力機構北海道国際センター（JICA 北海道）、北海道総合政策部知事室国際課、札幌国際プラザ、日本国際連合協会北海道本部	学内／学外	Facebook 11/18、12/1
31	12/1 ～ 12/15	トビタテ！留学 JAPAN 関連図書展示（北図書館）	国際本部	学内	Facebook 12/9
32	12/1 ～ 12/15	トビタテ！留学 JAPAN 関連ポスターパネル展示	国際本部	学内	Facebook 12/10
33	12/7	Study in Germany/ Bremen Event	国際本部	学内	Facebook 12/3
34	12/8、12/10、12/15、12/17、1/12、1/14	卒論・修論を乗り切る！これから始める執筆・発表セミナー　全 12 回	ラーニングサポート室	学内	Facebook 12/8
35	12/15	英語コミュニケーション　特別回	ラーニングサポート室	学内	Facebook 12/3
36	1/19 ～ 2/19	第 4 回国際協力カフェ＠北大図書館　関連図書展示・写真展示	国際本部、国際協力機構北海道国際センター（JICA 北海道）	学内／学外	Facebook 2/2、2/4
37	2/12	公開トークイベント：第 4 回国際協力カフェ＠北大図書館	国際本部、国際協力機構北海道国際センター（JICA 北海道）、北海道、公益財団法人札幌国際プラザ、日本国際連合協会北海道本部、札幌市	学内／学外	Facebook 2/5
38	3/1 ～ 3/2	若手教員のための英語論文執筆ワークショップ	URA ステーション	学内	
39	前期	全学教育科目（兼：道地区教養教育の単位互換科目）「大学生のための情報社会入門」e ラーニングビデオ教材作成	オープンエデュケーションセンター	学内	
40	通年	図書館情報入門(48 回)、オーダーメイド講習会(28 回)、各種 DB 等講習会（61 回）	教員等	学内／学外	

ガイダンス・講習会 平成 27 年度

No.	時期	内容
1	4/2	法学部 2 年生向け図書館オリエンテーション
2	4/2	理学部新入生（数学専攻大学院生）向け図書室利用ガイダンス（数学図書室）
3	4/3	公共政策大学院 1 年次生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
4	4/3	理学部 2 年生（数学科）向け図書室利用ガイダンス（数学図書室）
5	4/6	文学部 2 年次生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
6	4/7	文学部新入生・大学院生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
7	4/7	法学部新入生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
8	4/8	国際本部 HUSTEP 学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
9	4/9 ～ 4/17	新入生向け図書館利用ガイダンス（北図書館）
10	4/9 ～ 4/13	新入生向け図書館利用ガイダンス（本館）
11	4/9	留学生全体向け図書館オリエンテーション（学術交流会館）
12	4/14	オーダーメイド講習会（法学研究科：児矢野マリ教授）
13	4/15、5/19、6/3	医学部秘書さんのための出張講習会：文献探索編
14	4/16	オーダーメイド講習会（公共政策大学院）
15	4/17	文学部新入学留学生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
16	4/17	オーダーメイド講習会（教育学研究院：篠原岳司准教授）
17	4/20	オーダーメイド講習会（文学研究科：瀬名波栄潤教授）
18	4/20	オーダーメイド講習会（経済学研究科：坂川裕司教授）
19	4/20 ～ 4/24、4/27 ～ 4/28、4/30 ～ 5/1	スタディスキルセミナー：効果的な学習スキルを身につけよう！（北図書館） 全 18 回
20	4/20、4/22、6/9、6/16 ～ 6/17	「国際機関情報の探し方セミナー：国連編、EU 編、OECD 編」 全 6 回
21	4/21 ～ 4/23	新任教職員向け図書館利用ガイダンス
22	4/21	図書館情報入門（農学研究院：中村富美男特任教授）
23	4/21	図書館情報入門（文学研究科：宮武公夫名誉教授）
24	4/23	図書館情報入門（工学研究院：大井俊彦准教授）
25	4/23	図書館情報入門（情報科学研究科：小柳香奈子准教授）
26	4/23	図書館情報入門（高等教育推進機構：鈴木誠教授）
27	4/23	図書館情報入門（電子科学研究所：押切友也助教）
28	4/24	図書館情報入門（理学研究院：鈴木孝紀教授）
29	4/24	LexisNexis Academic 講習会
30	4/28	図書館情報入門（スラブ・ユーラシア研究センター：越野剛准教授）
31	4/28	図書館情報入門（農学研究院：斎藤秀之講師）
32	4/28	図書館情報入門（工学研究院：岩井一彦教授）
33	4/30	図書館情報入門（情報科学研究科：土橋宜典准教授）
34	4/30	図書館情報入門（歯学研究科：東野史裕准教授）
35	5/1	オーダーメイド講習会（文学研究科：立澤史郎助教）
36	5/1	オーダーメイド講習会（公共政策大学院：武藤俊雄講師）
37	5/7	図書館情報入門（薬学研究院：今重之准教授）
38	5/7	図書館情報入門（高等教育推進機構：川畑智子特任准教授）
39	5/7	図書館情報入門（高等教育推進機構：川畑智子特任准教授）
40	5/8	図書館情報入門（医学研究科：平野聡教授）
41	5/8 ～ 3/15	書庫ガイダンス定期開催 全 40 回
42	5/11 ～ 5/14	研究のための文献収集@北大講座 全 4 回
43	5/12	図書館情報入門（農学研究院：川村周三教授）
44	5/12	HUSCAP 博士論文登録講習会
45	5/13	オーダーメイド講習会（文学研究科：佐々木亨教授）
46	5/13	オーダーメイド講習会（教育学研究院：辻智子准教授）
47	5/13	図書館情報入門（工学研究院：柴田元准教授）
48	5/14	図書館情報入門（低温科学研究所：杉山慎准教授）
49	5/15	図書館情報入門（情報科学研究科：小野哲雄教授）
50	5/15、5/18 ～ 5/20	文系向けこれから論文を書く人のための文献収集セミナー（本館） 全 4 回
51	5/18 ～ 5/21	SciFinder 講習会 全 8 回
52	5/19	CAB Abstracts 講習会
53	5/19	オーダーメイド講習会（文学研究科：佐々木亨教授）
54	5/19	図書館情報入門（医学研究科：吉岡充弘教授）
55	5/20	図書館情報入門（情報科学研究科：大鐘武雄教授）
56	5/20	オーダーメイド講習会（文学研究科：結城雅樹教授）
57	5/21	図書館情報入門（経済学研究科：池見真由助教）
58	5/21	図書館情報入門（医学研究科：村上学助教）
59	5/21	図書館情報入門（薬学研究院：佐々貴之准教授）
60	5/26 ～ 5/28	EndNote 講習会 全 5 回
61	5/26 ～ 5/29	EndNote Basic 講習会 全 4 回
62	5/27	図書館情報入門（低温科学研究所：田中歩教授）
63	5/28	図書館情報入門（触媒化学研究センター：大谷文章教授）
64	6/3	図書館情報入門（歯学研究科：髙橋茂准教授）
65	6/3	図書館情報入門（農学研究院：坂爪浩史教授）
66	6/10	図書館情報入門（工学研究院：内田努准教授）
67	6/10、6/17、6/18	オーダーメイド講習会（歯学研究科） 全 3 回
68	6/12	図書館情報入門（地球環境科学研究院：久保川厚教授）
69	6/16、6/18、6/23、6/25、6/30、7/2	論文・レポート執筆とプレゼン発表へ向けた 研究の始め方・進め方セミナー 全 12 回
70	6/16 ～ 6/18	Reaxys 講習会 全 7 回
71	6/16	総合化学院 FD 研修「学位論文インターネット公表説明会」
72	6/17	オーダーメイド講習会（経済学研究科：高井哲彦准教授）
73	6/18	総合化学院 FD 研修「学位論文インターネット公表説明会」
74	6/19	図書館情報入門（創成研究機構：上原亮太特任助教）
75	6/23	図書館情報入門（農学研究院：松浦英幸准教授）
76	6/24	eol データベース講習会
77	7/7 ～ 7/8	Mendeley 講習会 全 4 回
78	7/8	Mendeley 講習会（個別相談会）（北図書館）
79	8/22	医学部秘書さんのための出張講習会：文献探索編／インパクトファクター編
80	8/25	医学部秘書さんのための出張講習会：インパクトファクター編
81	9/25	国際本部 HUSTEP 学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
82	10/2	留学生全体向け図書館オリエンテーション（学術交流会館）
83	10/5	オーダーメイド講習会（法学研究科：西村裕一准教授）
84	10/5 ～ 10/9、10/13	スタディスキルセミナー：2 学期開始！レポートの書き方をマスターしよう！ 全 12 回
85	10/6	文学部新入学留学生向け図書館オリエンテーション（人文・社会科学総合教育研究棟）
86	10/6	図書館情報入門（獣医学研究科：石塚真由美教授）
87	10/6	図書館情報入門（薬学研究院：秋田英万准教授）
88	10/8	図書館情報入門（教育学研究院：辻智子准教授）
89	10/8	図書館情報入門（文学研究科：鈴木幸人准教授）
90	10/13	オーダーメイド講習会（教育学研究院：大谷和大助教）
91	10/20	理学院・生命科学院・総合化学院新入学留学生向け図書館利用ガイダンス（理学院 5 号館）
92	10/20	オーダーメイド講習会（経済学研究科：深山誠也助教）
93	10/20 ～ 1/26	英語コミュニケーション／英語ライティングクリニック
94	10/21	図書館情報入門（高等教育推進機構：三上直之准教授）
95	10/21、10/23	新入学留学生向け北図書館ツアー（北図書館） 全 4 回
96	10/22、10/27	新入学留学生向け本館オリエンテーション（本館） 全 4 回
97	10/22	オーダーメイド講習会（文学研究科：高瀬克範准教授）
98	10/22	図書館情報入門（工学研究院：山田雅彦准教授）
99	10/22	図書館情報入門（保健科学研究院：佐川正教授）
100	10/23	オーダーメイド講習会（薬学研究院：佐藤夕紀助教）
101	10/23	オーダーメイド講習会（保健科学研究院：山本徹教授）
102	10/26	現代日本学プログラム予備課程学生向け図書館オリエンテーション（北図書館）
103	10/26	オーダーメイド講習会（教育学研究院：フィリップ・シートン教授）
104	10/27	図書館情報入門（高等教育推進機構：川畑智子特任准教授）
105	10/28	図書館情報入門（高等教育推進機構：徳井美智代特任准教授）
106	10/28	図書館情報入門（農学研究院：園山慶准教授）
107	10/29	図書館情報入門（高等教育推進機構：川畑智子特任准教授）
108	10/29	図書館情報入門（高等教育推進機構：川畑智子特任准教授）
109	10/30	水産学院教授会「学位論文インターネット公表説明会」
110	11/4 ～ 11/6、11/9 ～ 11/10	国際機関情報の探し方セミナー：統計編（本館） 全 5 回
111	11/5	オーダーメイド講習会（法学研究科：小濵祥子准教授）
112	11/10 ～ 11/13	Reaxys 講習会 全 8 回
113	11/12	院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー：人文・社会科学系編
114	11/12 ～ 11/13	Mendeley 講習会 全 5 回
115	11/13	オーダーメイド講習会（保健科学研究院：山本徹教授）
116	11/16 ～ 11/17	Ovid 講習会 全 3 回
117	11/17	歯学部 Medline on Ovid 講習会
118	11/17	農学研究院 Cab 講習会
119	11/17 ～ 11/20	SciFinder 講習会 全 9 回
120	11/17、11/19、12/1、12/3	文系向けこれから論文を書く人のための文献収集セミナー（本館） 全 4 回
121	11/18	オーダーメイド講習会（教育学研究院：駒川智子准教授）
122	11/19	図書館情報入門（経済学研究科：村上明子助教）
123	11/25	経済学研究科 eol データベース講習会
124	11/25 ～ 11/26	院生・若手研究者のための英語論文執筆セミナー：生命科学系編・理工学系編 全 3 回
125	11/26	図書館情報入門（医学研究科：大滝純司教授）
126	11/26 ～ 11/27	EndNote, EndNote Basic 講習会 全 4 回
127	12/8、12/10、12/15、12/17、1/12、1/14	卒論・修論を乗り切る！これから始める執筆・発表セミナー 全 12 回
128	12/15	英語コミュニケーション 特別回（北図書館）
129	12/24	図書館情報入門（工学研究院：小澤丈夫准教授）
130	1/6	オーダーメイド講習会（保健科学研究院：本田光助教）
131	1/7	オーダーメイド講習会（経済学研究科：満薗勇准教授）
132	1/8	オーダーメイド講習会（農学研究院：斎藤秀之講師）
133	2/10	メディア・コミュニケーション研究院 FD 研修「論文のインターネット公表に関する説明会」

活動日誌 平成 27 年度

4月	4/ 1	北海道立図書館北方資料デジタル・ライブラリーとの連携
	4/ 1～ 6/30	企画展示「北大の英語教育」
	4/ 3～ 4/ 7	新任担当者実務研修
	4/ 6	北図書館西棟オープン
	4/10	機関リポジトリコミュニティに関する打合せ（事務部長）（NII）
	4/24	第 47 回国立大学図書館協会　北海道地区協会総会（副館長、事務部長、管理課長、利用支援課長）（北海道大学教育大学札幌駅前サテライト）
5月	5/ 1	機関リポジトリコミュニティに関する打合せ（事務部長）（NII）
	5/ 8～ 5/21	特別展示「本は脳を育てる～北大教員による推薦図書～」（北図書館）
	5/ 8	北図書館西棟オープン・新渡戸カレッジ開講記念講演会「グローバルキャリアを目指す大学での学び方」（北図書館）
	5/13	日・EU フレンドシップウィークイベント／新渡戸カレッジ応援イベント講演会「附属図書館留学応援講演会：IELTS で欧米留学を完全攻略せよ！！」
	5/15	北海道地区大学図書館協議会　第 58 回北海道地区大学図書館職員研究集会　第 3 回企画委員会（管理課）（利用支援課課長補佐）
	5/18	北海道地区大学図書館協議会　北海道地区大学図書館相互利用サービス事務担当者会議（利用支援課課長補佐）
	5/18	国立大学図書館協会春季理事会（平成 26 年度）（館長、事務部長、管理課長）（東京大学）
	5/25	日・EU フレンドシップウィークイベント「EURAXESS Links Japan Tour 2015」
	5/26	北海道武蔵女子短期大学来館
	5/28～ 5/29	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　第 86 回通常総会及び分科会（利用支援課）（東京）
	5/28	北海道地区大学図書館協議会　平成 26 年度第 5 回幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	5/30	北海道武蔵女子短期大学来館
6月	6/ 1	九州大学来館
	6/ 5	北翔大学来館
	6/ 9	第 1 回大学図書館コンソーシアム連合運営委員会（管理課）（NII）
	6/10～ 6/19	図書展示「グローバル社会における防災」
	6/10～ 6/12	目録システム地域講習会（学術システム課）
	6/11～ 6/12	第 1 回学術情報基盤オープンフォーラム（学術システム課）（NII）
	6/15	新渡戸カレッジ応援イベント「Study in Europe !」
	6/16	OECD iLibrary 勉強会（情報リテラシー教育支援 WG 勉強会）
	6/17	新渡戸基金研究助成事業採択
	6/18～ 6/19	第 62 回国立大学図書館協会総会及び第 11 回国立大学図書館協会マネジメントセミナー（館長、事務部長、管理課長）（熊本）
	6/22～ 6/26	EU MUSIC WEEK
	6/23	第 1 回学術研究コンテンツ小委員会
	6/24	オープンサイエンス・オープンアクセスポリシーに関する打ち合わせ（事務部長）（文部科学省）
	6/25～ 6/26	学術情報システム総合ワークショップ（第 1 回　講義等）（学術システム課）（NII）
	6/25	第 66 回北日本図書館大会及び第 57 回北海道図書館大会（利用支援課長、管理課、利用支援課、学術システム課）（札幌）
	6/26	日・EU フレンドシップウィーク関連企画　ビブリオバトル（北図書館）
	6/30	「めざせ！ 100 万語　英語多読マラソン」スタートアップガイダンス（北図書館）
7月	7/ 1～ 8/ 7	建築家安藤忠雄関連書籍展示（北図書館）
	7/ 1～ 9/30	企画展示「北海道の地名」
	7/ 1	厚真町立厚南中学校来館
	7/ 3	公共財団法人日本科学協会（中国訪日団）来館
	7/ 3	世界のルールの作り方・使い方：「第 1 回　食の安全と国際経済：成長ホルモン・遺伝子組み換え食品の輸出入をめぐる攻防」
	7/ 6	第 1 回図書選定小委員会
	7/ 7～ 8/ 7	物理入門書展示（北図書館）
	7/ 7	第 10 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（事務部長）（NII）
	7/ 8	第 1 回学術成果発信小委員会
	7/ 9～ 7/10	第 36 回 EUi セミナー（日本大学国際関係学部）（利用支援課）
	7/ 9～ 8/11	試験期間の学外者利用制限開始（北図書館）（初実施）
	7/10	北海道地区大学図書館協議会　第 58 回北海道地区大学図書館職員研究集会　第 4 回企画委員会（管理課）（小樽商科大学）
	7/13	SPARC Japan セミナー企画ワーキング・グループキックオフミーティング（学術システム課）（NII）
	7/13、7/15	第 1 回選書ツアー
	7/14	第 230 回図書館委員会（平成 27 年度第 1 回）
	7/22	第 164 回北図書館委員会
	7/24	第 1 回図書担当係長連絡会議
	7/27～ 8/13	HUSCAP10 周年パネル展示
8月	8/ 2	オープンキャンパス　自由見学プログラム（館内ツアー）（本館・北図書館）
	8/ 6～ 8/ 7	学術情報システム総合ワークショップ（第 2 回　中間検討会）（学術システム課）（NII）
	8/ 6	教育学習支援検討特別委員会（利用支援課）（東京大学）
	8/ 7	第 58 回北海道地区大学図書館職員研究集会（管理課、利用支援課、学術システム課）（小樽商科大学）
	8/ 7	機関リポジトリ推進委員会 OA 方針対象論文トラッキング班キックオフミーティング（管理課）（NII）

	8/11	第 2 回新任教員向けキャンパスツアー（北図書館）
	8/14 ～ 9/24	レファレンスブック展示企画「調べるための本：次の一歩」白書・年鑑編、文献目録編、人名録・団体機関名編
	8/19	新渡戸カレッジ応援イベント講演会「第 11 回 Sci-Tech Talk in English」
	8/21	第 65 回北海道地区大学図書館協議会総会　平成 26 年度第 6 回幹事館会議（館長、事務部長、利用支援課長、利用支援課課長補佐）（札幌大谷大学）
	8/26	札幌市立清田高等学校職場体験学習（2 名）（北図書館）
	8/27	羅臼中学校来室（工学研究院中央図書室）
	8/28	第 2 回図書選定小委員会（メール会議）
9 月	9/ 4	第 2 回学術研究コンテンツ小委員会（メール会議）
	9/ 7 ～ 9/15	北海道大学インターンシップ（1 名）　図書館実習：藤女子大学（3 名）、北海道武蔵女子短期大学（3 名）
	9/ 7 ～ 2016/ 1/30	歴史的典籍データベース構築事業
	9/16	札幌市立旭ヶ丘高校職場体験学習（2 名）、札幌市立新川高校職場体験学習（4 名）（北図書館）
	9/25 ～ 10/18	TEDxHokkaidoU 関連図書・ポスターパネル展示
	9/26	北海道大学ホームカミングデー
	前期	全学教育科目（兼：道地区教養教育の単位互換科目）「大学生のための情報社会入門」e ラーニングビデオ教材作成（北図書館）
10 月	10/ 1 ～ 1/31	企画展示「北の植物学者　宮部金吾展」
	10/ 2	北海道地区大学図書館協議会　第 58 回北海道地区大学図書館職員研究集会　第 5 回企画委員会（管理課）
	10/ 2	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会（利用支援課課長補佐）（国文学研究資料館）
	10/ 5 ～ 10/30	農学研究院図書室「貸出回数ゼロ資料」展示
	10/ 5	国立大学図書館協会　北海道地区協会企画事業キックオフミーティング（利用支援課）
	10/ 7	第 1 回学術成果刊行助成審査委員会
	10/ 7	OA 方針策定支援ツールのためのヒアリング調査（管理課）（京都大学）
	10/ 7	ベトナムカントー大学来館
	10/11	TEDxHokkaidoU 2015 カンファレンス同時中継
	10/13 ～ 10/14	HORIZON2020 国際シンポジウム（学術システム課）（神戸大学）
	10/15 ～ 10/22	図書展示「グローバル社会における公衆衛生」
	10/16	第 1 回北海道図書館連絡会議及び第 58 回北海道図書館大会運営委員会（第 1 回）（利用支援課長）（北海道立図書館）
	10/19 ～ 11/ 2	サステナビリティ・ウィーク＆オープンアクセスウィーク企画展示「オープンアクセスと HUSCAP：オープンアクセスからオープンサイエンスへ」
	10/20 ～ 10/21	第 2 回 SPARC Japan セミナー 2015 運営補助（学術システム課）（NII）
	10/22	学術情報システム総合ワークショップ（東京地区図書館訪問調査）（学術システム課）（桐朋学園大学）
	10/28	第 1 回研修出張報告会
	10/28 ～ 11/10	特別展示「本は脳を育てる～北大教員による推薦図書～」（北図書館）
	10/29 ～ 10/30	学術情報システム総合ワークショップ（関西地区図書館訪問調査）（学術システム課）（同志社大学、国際日本文化研究センター）
	10/30	第 1 回「機関リポジトリ新協議会（仮称）設立準備会」及び第 9 回「機関リポジトリ推進委員会」（事務部長）（東京大学）
11 月	11/ 3 ～ 11/16	国立大学図書館協会海外派遣事業:「実務研修プログラムの構築及び各種調査」（利用支援課）（米国マサチューセッツ大学アマースト校）
	11/ 9	国立大学図書館協会秋季理事会（事務部長）（管理課長）及び人材委員会（事務部長）（筑波）
	11/ 9	国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局函館視力障害センター来館
	11/10 ～ 11/28	パネル展示・図書展示「SDGs を知る」
	11/10 ～ 11/28	写真展示「国連フォーラムとスタディ・プログラム」
	11/10 ～ 11/11	オープンアクセス方針に関する打合せ及び第 17 回図書館総合展運営等参加（管理課）（横浜）
	11/10 ～ 11/12	第 17 回図書館総合展（事務部長、管理課長、管理課、利用支援課、学術システム課）（横浜）
	11/12	フォーラム「大学図書館のアクセシビリティ」における講演（管理課）（利用支援課）（横浜）
	11/12 ～ 11/13	第 47 回国連寄託図書館年次会議（利用支援課）（上智大学、国連大学）
	11/13	第 2 回新渡戸カレッジボランティア体験報告会（北図書館）
	11/16	国立七大学附属図書館協議会（館長、事務部長、管理課長、利用支援課長、学術システム課長）
	11/16 ～ 11/18	障害者サービス担当職員向け講座（利用支援課）（国立国会図書館関西館、日本ライトハウス情報文化センター）
	11/17	北図書館防災訓練
	11/17	OVID 勉強会（情報リテラシー教育支援 WG 勉強会）
	11/18	立命館慶祥中学校来室（工学研究院中央図書室）
	11/19	防災訓練（本館）
	11/20	北海道地区大学図書館協議会　第 1 回幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）
	11/26	第 3 回図書選定小委員会
	11/26	学びのユニバーサル・デザイン入門第 8 回講義（利用支援課）
	11/27	国立大学図書館協会　北海道地区協会　事務部課室長会議（事務部長、管理課長）
	11/27	学術情報システム総合ワークショップ（第 3 回報告会）（学術システム課）（NII）
	11/28	第 3 回国際協力カフェ「国連フォーラム　スリランカ・スタディ・プログラム報告会：SDGs から考える、セカイの未来わたしの未来」
	11/29 ～ 12/4	国立大学図書館協会海外派遣事業：「17th International Conference on Grey Literature　欧州における灰色文献に関する取組の調査」（利用支援課）（アムステルダム）

	11/30	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　北海道地区会研修会（利用支援課）
12月	12/ 1	北海道立登別明日中等教育学校来館
	12/ 1 ～ 12/15	トビタテ！留学 JAPAN 関連ポスターパネル展示／トビタテ！留学 JAPAN 関連図書展示（北図書館）
	12/ 3	学びのユニバーサル・デザイン入門第 9 回講義（利用支援課）
	12/ 6 ～ 12/12	Berlin12 会議及びベルリン自由大学訪問（事務部長）（ベルリン）
	12/ 7	Study in Germany/ Bremen Event（国際本部）
	12/ 9	第 2 回選書ツアー
	12/11	北海学園大学来館
	12/14 ～ 12/15	AED 講習会
	12/14	教育研究支援業務総長表彰優秀賞受賞（英語多読マラソン）
	12/15	北海道地区大学図書館協議会　第 2 回幹事館会議（メール会議）（利用支援課長）
	12/18	第 2 回図書担当係長連絡会議
	12/18	第 2 回学術成果刊行助成審査委員会
	12/21	第 3 回「機関リポジトリ新協議会（仮称）設立準備会」（事務部長）（東京大学）
	12/21	韓国図書館連合会来館
	12/27	第 3 回大学図書館コンソーシアム連合運営委員会（管理課）（NII）
1月	1/ 6	釜山大学図書館見学
	1/12 ～ 1/14	少年よ、学部を選べ！（北図書館）
	1/18	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　北海道地区会（メール会議）（利用支援課長）
	1/19 ～ 2/19	第 4 回国際協力カフェ@北大図書館　関連図書／パネル／写真展示
	1/20	古本募金試行開始
	1/21	第 4 回「機関リポジトリ新協議会（仮称）設立準備会」（事務部長）（東京大学）
	1/22	北海道地区図書館連絡会議（利用支援課長）（江別）
	1/22	第 2 回北海道図書館連絡会議及び第 58 回北海道図書館大会運営委員会（第 2 回）（利用支援課長）（北海道立図書館）
	1/22	北海道地区大学図書館協議会　第59回北海道地区大学図書館職員研究集会　第1回企画委員会(管理課)(利用支援課課長補佐)
	1/22	創生科学サロン:初夢を語る会(利用支援課)
	1/25	北米日本研究資料調整協議会(NCC)との懇談会(管理課長)(京都大学)
	1/27	札幌市中央図書館訪問（情報リテラシー教育支援 WG）
	1/29	国立大学図書館協会シンポジウム（利用支援課）（東京大学）
2月	2/ 1 ～ 3/27	企画展示「所蔵資料でみる知里真志保博士の生涯と仕事」
	2/ 5	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　北海道地区会総会（利用支援課長、利用支援課）（北海道医療大学）
	2/ 9	HUSCAP 公式キャラクター「はすかっぷちゃん」雪像完成とアイスキャンドル・スノーキャンドル点灯式
	2/10	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　北海道地区会（メール会議）（利用支援課長）
	2/12	公開トークイベント　第 4 回国際協力カフェ@北大図書館
	2/12	北海道地区機関リポジトリ実務担当者研修
	2/12	第 10 回「機関リポジトリ推進委員会」（事務部長）（NII）
	2/12	特定非営利活動法人日本医学図書館協会　第1回ホームページ担当ワーキンググループ会議(利用支援課)(東京)
	2/20～2/27	OpenAIREのメタデータマネジメントに関する調査(管理課)(ドイツ、ビーレフェルト大学他)
	2/22	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会(利用支援課課長補佐)(国文学研究資料館)
	2/23	第 11 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議（事務部長）（NII）
	2/23	第 2 回学術成果発信小委員会
	2/24	チャン・ウォン大学来館
	2/29	科学技術振興機構主催　データシェアリングシンポジウム（学術システム課）（東京）
3月	3/ 3	第 2 回研修出張報告会
	3/ 3	機関リポジトリ推進委員会課題領域「オープンアクセス方針」打合せ（管理課）（NII）
	3/ 3	第 3 回学術研究コンテンツ小委員会
	3/ 4	「北大生の学習・情報利用行動を把握せよ！」（情報リテラシー教育支援 WG 勉強会）
	3/ 5 ～ 3/ 6	FD フォーラム京都（利用支援課）（京都外国語大学）
	3/ 7	北海道地区大学図書館協議会　第 59 回北海道地区大学図書館職員研究集会　第 2 回企画委員会（管理課）
	3/ 9	第 4 回図書選定小委員会
	3/ 9	第 4 回 SPARC Japan セミナー 2015（管理課、利用支援課、学術システム課）（東京）
	3/10	第 1 回点検評価小委員会
	3/11	第 165 回北図書館委員会
	3/16	第 231 回図書館委員会（平成 27 年度第 2 回）
	3/18	国立大学図書館協会総務委員会（事務部長）（東京大学）
	3/20	「オンライン教材、数学 IR と大学図書館」（利用支援課）（大阪）
	3/23	第 3 回図書担当係長連絡会議
	3/24	北海道地区大学図書館協議会　第 3 回幹事館会議（利用支援課長、利用支援課課長補佐）

職員研修 平成 27 年度

No	研修名	開催期間	開催場所	参加者所属	参加者氏名
1	北海道地区国立大学法人等初任職員研修	H27. 4.14～ H27. 4.16	学術交流会館	管理課、利用支援課	山形知実、前田隼
2	特定非営利活動法人日本医学図書館協会第 86 回通常総会及び分科会	H27. 5.28～ H27. 5.29	日本科学未来館 （東京都江東区）	利用支援課付（歯）	東朋子
3	北海道地区大学図書館職員スキルアップセミナー	H27. 5.29	百年記念会館	利用支援課、利用支援課付（文）、利用支援課付（理）、利用支援課付（農）、利用支援課付（水）、学術システム課	豊田裕昭、紙谷五月、丸山絢子、堤紗代、岩木亜衣、松坂紗代子、長嶋岳生、城恭子、栗田とも子、梶谷晶子、野中雄司、河野由香里、久米未希子、加藤彰、石丸恵、見目亜紀子、富樫ふゆ子、八巻千晶、得能由貴、近藤絵理子、茶屋容子、松尾真木子、高石しのぶ、清谷あさみ、嶺野智康
4	国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（基礎英会話）	H27. 6～ H27. 9	株式会社オレンジバード （札幌市北区）	管理課、利用支援課	山形知実、前田隼
5	国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（中級）	H27. 6～ H27. 7	ファカルティハウス「エンレイソウ」	利用支援課	丸山絢子、清重周太郎
6	国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（上級）	H27. 6～ H27. 7	ファカルティハウス「エンレイソウ」	管理課、利用支援課、利用支援課付（理）	三隅健一、栗田とも子、磯本善男
7	北海道地区国立大学法人等中堅職員研修	H27. 6. 9～ H27. 6.11	学術交流会館	利用支援課付（医）	川村路代
8	北海道地区国立大学法人事務情報化講習会（ACCESS 初級編）	H27. 6.23～ H27. 6.24	情報基盤センター北館	管理課、利用支援課	芝翔太郎、丸山絢子
9	第 66 回北日本図書館大会北海道大会　第 57 回北海道図書館大会	H27. 6.25～ H27. 6.26	札幌市教育文化会館 （札幌市中央区）	管理課、利用支援課、利用支援課付（理）、利用支援課付（医）、学術システム課	小林泰名、前田翔太、豊田裕昭、栗田とも子、首藤佳子、田邉千雪、梶原茂寿
10	学術情報システム総合ワークショップ	H27. 6.25～ H27.12.25	国立情報学研究所 （東京都千代田区）	学術システム課	松尾真木子
11	北海道地区国立大学法人等アドビフォトショップ／イラストレータ研修	H27. 6.29～ H27. 6.30	情報基盤センター北館	利用支援課、利用支援課付（保）	河野由香里、石森久美
12	大学図書館職員長期研修	H27. 7. 6～ H27. 7.17	筑波大学 （茨城県つくば市）	利用支援課付（歯）、利用支援課付（低）	東朋子、児玉陽子
13	第 36 回 EUi セミナー	H27. 7. 9～ H27. 7.10	日本大学国際関係学部 （静岡県三島市）	利用支援課	丸山絢子
14	第 22 回医学図書館員基礎研修会	H27. 8. 5～ H27. 8. 7	明海大学 （千葉県浦安市）	利用支援課付（歯）	守内美月
15	国立大学法人北海道大学事務職員英語研修（グローバル化対応）	H27. 8. 6～ H27. 8. 7	人文・社会科学総合教育研究棟	利用支援課付（理）、利用支援課付（低）	磯本善男、児玉陽子
16	第 58 回北海道地区大学図書館職員研究集会	H27. 8. 7	小樽商科大学 （小樽市）	管理課、利用支援課、利用支援課付（文）、利用支援課付（農）、学術システム課	根本萌、井上雅史、前田翔太、中村瑞穂、芝翔太郎、山形知実、豊田裕昭、金子敏、丸山絢子、前田隼、城恭子、齊藤宏哉、清重周太郎、河野由香里、平館真希子、猿橋キヨミ、梶原茂寿、近藤絵理子、髙石しのぶ、清谷あさみ
17	図書館等職員著作権実務講習会	H27. 8.18～ H27. 8.20	昭和女子大学 （東京都世田谷区）	利用支援課	中道敦子
18	国立大学法人北海道大学会計実務研修	H27. 8.26～ H27. 8.28	大滝セミナーハウス	管理課	小林泰名、村木麻衣子、芝翔太郎
19	北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー	H27. 9.17～ H27. 9.18	附属図書館	管理課、学術システム課	根本萌、前田翔太、中村瑞穂、山崎佳子、山形知実、近藤絵理子 ※部分参加者は除く
20	事務職員プレゼンテーションスキル講習会	H27.10. 5～ H27.10. 9	附属図書館	利用支援課	河野由香里
21	国立大学法人北海道大学簿記研修	H27.10. 9～ H27.11. 6	TAC 株式会社札幌校 （札幌市中央区）	管理課	鈴木竜一、井上雅史、前田翔太、堀越邦恵、村木麻衣子、芝翔太郎
22	HORIZON2020 によるオープンアクセス政策とオープンサイエンスの国際的課題	H27.10.13～ H27.10.14	神戸大学 （兵庫県神戸市）	学術システム課	梶原茂寿
23	平成 27 年度北海道地区国立大学法人等アドビフォトショップ／イラストレータ研修	H27.10.19～ H27.10.20	情報基盤センター北館	管理課、利用支援課付（農）、学術システム課	根本萌、中村瑞穂、芝翔太郎、山崎佳子、見目亜紀子、近藤絵理子
24	北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（ACCESS 初級編）	H27.10.21	情報基盤センター北館	管理課	山形知実
25	北海道地区大学 SD 研修「大学職員セミナー」	H27.10.28～ H27.10.29	百年記念会館	管理課、学術システム課	中村陽、梶原茂寿
26	北海道地区私立大学図書館協議会　第 2 回業務研究会	H27.11. 6	天使大学 （札幌市東区）	管理課、利用支援課、利用支援課付（工）	山形知実、菊池満史、野中雄司、河野由香里、菊地隆憲
27	第 17 回図書館総合展	H27.11.10～ H27.11.12	パシフィコ横浜 （神奈川県横浜市）	管理課、利用支援課、学術システム課	山崎佳子、河野由香里、佐々木翼
28	国連寄託図書館年次会議	H27.11.12～ H27.11.13	国連大学 （東京都渋谷区）	利用支援課	長嶋岳生
29	北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（ACCESS クエリ編）	H27.11.17～ H27.11.19	情報基盤センター南館	管理課、学術システム課	小林泰名、根本萌、前田翔太、中村瑞穂、芝翔太郎、山形知実、茶屋容子
30	教務事務実務研修	H27.11.19～ H27.11.20	高等教育推進機構	利用支援課付（文）	平館真希子
31	図書館地区別（北日本）研修	H27.11.24～ H27.11.25	札幌市中央図書館 （札幌市中央区）	利用支援課付（水）	守谷径子
32	日本医学図書館協会北海道地区研修会	H27.11.30	附属図書館	利用支援課、利用支援課付（医）	菊池満史、野中雄司、川村路代、三浦希望
33	北海道地区国立大学法人等係長研修	H27.11.30～ H27.12. 2	北海道教育大学札幌駅前サテライト教室 （札幌市中央区）	管理課	福地由香
34	大学図書館職員短期研修	H27.12. 1～ H27.12. 4	国立情報学研究所 （東京都千代田区）	利用支援課、学術システム課	長嶋岳生、河野由香里、笠井美由紀
35	北海道地区国立大学法人等会計基準研修	H27.12. 2～ H27.12. 4	百年記念会館	管理課	鈴木竜一、井上雅史、前田翔太、堀越邦恵、村木麻衣子、芝翔太郎
36	北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修	H27.12. 3～ H27.12. 4	高等教育推進機構	利用支援課付（医）、利用支援課付（工）	川村路代、菊地隆憲
37	北海道地区私立大学図書館協議会　第3回業務研究会	H27.12. 4	北星学園大学 （札幌市厚別区）	利用支援課、利用支援課付（農）	野中雄司、富樫ふゆ子
38	目録システム書誌作成研修（試行）	H27.12.17～ H27.12.18	国立情報学研究所 （東京都千代田区）	学術システム課	茶屋容子
39	国立大学図書館協会シンポジウム	H28. 1.29	東京大学 （東京都文京区）	利用支援課	清重周太郎
40	国立大学図書館協会北海道地区協会企画事業「図書館の魅力を効果的に伝えるには？」ワークショップ	H28. 2.19	附属図書館	管理課、利用支援課、利用支援課付（理）、利用支援課付（歯）、学術システム課	山形知実、城恭子、栗田とも子、小林流美子、野中雄司、河野由香里、加藤彰、守内美月、梶原茂寿、笠井美由紀
41	科学技術振興機構主催データシェアリングシンポジウム	H28. 2.29	一橋講堂 （東京都千代田区）	学術システム課	梶原茂寿
42	オンライン教材、教学IRと大学図書館	H28. 3.21	弁天町ORC200生涯学習センター （大阪府大阪市）	利用支援課	城恭子、野中雄司

統　計

基盤統計

平成 27 年度雑誌所蔵・受入種類統計

区分	所蔵種類数（平成 28 年 3 月 31 日現在）			受入冊数（平成 27 年度）								
				購入			寄贈			合計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	20,132	12,956	**33,088**	254	43	**297**	612	53	**665**	866	96	**962**
附属図書館（北図書館）	1,182	550	**1,732**	150	6	**156**	11	1	**12**	161	7	**168**
文学研究科・文学部	3,284	1,762	**5,046**	353	268	**621**	538	15	**553**	891	283	**1,174**
法学研究科・法学部	724	407	**1,131**	159	293	**452**	331	34	**365**	490	327	**817**
経済学研究科・経済学部	865	251	**1,116**	200	134	**334**	417	37	**454**	617	171	**788**
医学研究科・医学部	3,329	2,595	**5,924**	225	136	**361**	317	33	**350**	542	169	**711**
歯学研究科・歯学部	622	568	**1,190**	70	39	**109**	155	21	**176**	225	60	**285**
工学研究科・工学部	2,683	2,921	**5,604**	136	65	**201**	213	31	**244**	349	96	**445**
獣医学研究科・獣医学部	562	864	**1,426**	32	40	**72**	46	27	**73**	78	67	**145**
情報科学研究科	387	482	**869**	51	19	**70**	94	2	**96**	145	21	**166**
水産科学研究院・水産学部	2,994	2,253	**5,247**	96	44	**140**	281	59	**340**	377	103	**480**
地球環境科学研究院	284	340	**624**	36	4	**40**	24	8	**32**	60	12	**72**
理学研究院・理学部	751	3,451	**4,202**	64	218	**282**	43	170	**213**	107	388	**495**
薬学研究院・薬学部	161	132	**293**	22	5	**27**	35	0	**35**	57	5	**62**
農学研究院・農学部	5,012	3,452	**8,464**	212	119	**331**	329	100	**429**	541	219	**760**
先端生命科学研究院	36	13	**49**	7	2	**9**	0	0	**0**	7	2	**9**
教育学研究院・教育学部	771	195	**966**	177	34	**211**	149	3	**152**	326	37	**363**
メディアコミュニケーション研究院	170	179	**349**	70	59	**129**	11	1	**12**	81	60	**141**
保健科学研究院・保健科学院	777	128	**905**	97	6	**103**	78	1	**79**	175	7	**182**
公共政策大学院	2	0	**2**	6	0	**6**	0	0	**0**	6	0	**6**
低温科学研究所	816	930	**1,746**	27	12	**39**	68	24	**92**	95	36	**131**
電子科学研究所	19	7	**26**	17	2	**19**	0	0	**0**	17	2	**19**
遺伝子病制御研究所	5	21	**26**	3	0	**3**	1	0	**1**	4	0	**4**
触媒科学研究所	80	381	**461**	11	0	**11**	4	4	**8**	15	4	**19**
スラブ・ユーラシア研究センター	185	1,664	**1,849**	16	194	**210**	55	53	**108**	71	247	**318**
情報基盤センター	50	7	**57**	13	3	**16**	0	0	**0**	13	3	**16**
国際本部・留学生センター	2	1	**3**	14	4	**18**	3	0	**3**	17	4	**21**
高等教育推進機構	102	76	**178**	20	22	**42**	4	1	**5**	24	23	**47**
総合博物館	796	412	**1,208**	4	0	**4**	0	0	**0**	4	0	**4**
北方生物圏フィールド科学センター	12	76	**88**	48	5	**53**	2	0	**2**	50	5	**55**
大学文書館	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
アイヌ・先住民研究センター	111	10	**121**	2	2	**4**	3	0	**3**	5	2	**7**
創成研究機構	7	0	**7**	9	0	**9**	2	0	**2**	11	0	**11**
計	**46,913**	**37,084**	**83,997**	**2,601**	**1,778**	**4,379**	**3,826**	**678**	**4,504**	**6,427**	**2,456**	**8,883**

平成 27 年度蔵書・受入統計

区分	所蔵冊数（平成 28 年 3 月 31 日現在）			受入冊数（平成 27 年度）											
				購入			寄贈			製本			総計		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館（本館）	1,025,408	840,823	**1,866,231**	4,941	952	**5,893**	2,557	1,907	**4,464**	393	108	**501**	7,891	2,967	**10,858**
附属図書館（北図書館）	259,683	117,698	**377,381**	5,083	513	**5,596**	624	66	**690**	24	1	**25**	5,731	580	**6,311**
文学研究科・文学部	158,924	123,018	**281,942**	1,990	972	**2,962**	9,091	134	**9,225**	358	152	**510**	11,439	1,258	**12,697**
法学研究科・法学部	7,719	1,954	**9,673**	364	501	**865**	245	84	**329**	505	494	**999**	1,114	1,079	**2,193**
経済学研究科・経済学部	10,028	4,356	**14,384**	162	103	**265**	403	148	**551**	240	124	**364**	805	375	**1,180**
医学研究科・医学部	57,653	97,634	**155,287**	800	60	**860**	26	18	**44**	260	309	**569**	1,086	387	**1,473**
歯学研究科・歯学部	24,478	20,556	**45,034**	206	42	**248**	69	10	**79**	66	38	**104**	341	90	**431**
工学研究科・工学部	115,637	112,637	**228,274**	1,139	102	**1,241**	108	260	**368**	392	166	**558**	1,639	528	**2,167**
獣医学研究科・獣医学部	11,189	26,232	**37,421**	54	20	**74**	11	13	**24**	8	27	**35**	73	60	**133**
情報科学研究科	14,017	17,736	**31,753**	99	0	**99**	126	228	**354**	0	0	**0**	225	228	**453**
水産科学研究院・水産学部	76,949	54,813	**131,762**	737	60	**797**	1,126	40	**1,166**	125	103	**228**	1,988	203	**2,191**
地球環境科学研究院	10,289	8,777	**19,066**	120	93	**213**	21	5	**26**	17	25	**42**	158	123	**281**
理学研究院・理学部	44,136	177,071	**221,207**	646	242	**888**	781	829	**1,610**	18	24	**42**	1,445	1,095	**2,540**
薬学研究院・薬学部	7,258	3,711	**10,969**	187	10	**197**	21	0	**21**	10	0	**10**	218	10	**228**
農学研究院・農学部	140,217	108,285	**248,502**	414	84	**498**	469	173	**642**	81	115	**196**	964	372	**1,336**
先端生命科学研究院	197	176	**373**	22	5	**27**	0	0	**0**	0	0	**0**	22	5	**27**
教育学研究院・教育学部	16,399	4,093	**20,492**	552	75	**627**	251	10	**261**	72	2	**74**	875	87	**962**
メディアコミュニケーション研究院	6,450	8,805	**15,255**	78	112	**190**	100	159	**259**	0	0	**0**	178	271	**449**
保健科学研究院・保健科学院	31,594	4,070	**35,664**	178	9	**187**	98	0	**98**	73	0	**73**	349	9	**358**
公共政策大学院	1	0	**1**	145	134	**279**	12	17	**29**	0	0	**0**	157	151	**308**
低温科学研究所	11,343	25,312	**36,655**	0	0	**0**	11	320	**331**	19	21	**40**	30	341	**371**
電子科学研究所	1,122	795	**1,917**	0	0	**0**	96	3	**99**	0	0	**0**	96	3	**99**
遺伝子病制御研究所	489	293	**782**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
触媒科学研究所	4,651	16,772	**21,423**	7	13	**20**	12	11	**23**	0	0	**0**	19	24	**43**
スラブ・ユーラシア研究センター	2,441	66,728	**69,169**	126	1,145	**1,271**	446	947	**1,393**	7	302	**309**	579	2,394	**2,973**
国際本部・留学生センター	0	0	**0**	173	110	**283**	0	0	**0**	0	0	**0**	173	110	**283**
高等教育推進機構	3,809	1,046	**4,855**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
総合博物館	9,466	3,508	**12,974**	0	2	**2**	271	53	**324**	0	0	**0**	271	55	**326**
北方生物圏フィールド科学センター	5,975	1,762	**7,737**	11	7	**18**	0	0	**0**	0	0	**0**	11	7	**18**
大学文書館	3,010	64	**3,074**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
アイヌ・先住民研究センター	3,191	479	**3,670**	10	6	**16**	177	9	**186**	0	0	**0**	187	15	**202**
情報法政策学研究センター	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
創成研究機構	4	3	**7**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**	0	0	**0**
計	**2,063,727**	**1,849,207**	**3,912,934**	**18,244**	**5,372**	**23,616**	**17,152**	**5,444**	**22,596**	**2,668**	**2,011**	**4,679**	**38,064**	**12,827**	**50,891**

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。
※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

電子ジャーナル提供タイトル数

出版社系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
Cambridge Journals Online		363	**363**
Elsevier（ScienceDirect）		2,261	**2,261**
IEL/IEEE Electronic Library		200	**200**
Oxford Journals		270	**270**
Springer（Springer LINK）		1,600	**1,600**
Wiley-Blackwell（Wiley Interscience）		1,408	**1,408**
その他	3	881	**884**
小計	**3**	**6,983**	**6,986**
アグリゲータ系パッケージ	タイトル数		計
	和	洋	
EBSCO Academic Search Premier		4,780	**4,780**
JSTOR		193	**193**
ProQuest		9,008	**9,008**
メディカルオンライン	1,202		**1,202**
その他	576	489	**1,065**
小計	**1,778**	**14,470**	**16,248**
合計	**1,781**	**21,453**	**23,234**

電子ブック提供タイトル数

出版社	タイトル数		計
	和	洋	
Academic Search Premier		1,364	**1,364**
ACM Digital Library		6,841	**6,841**
eBooks on EBSCOhost（旧 NetLibrary）	213	695	**908**
Maruzen eBook Library	735	290	**1,025**
Methods in Enzymology		235	**235**
Oxford Reference		284	**284**
ProQuest Health & Medical Complete		161	**161**
ScienceDirect Computer Scinece eBook		584	**584**
Springer eBooks		9,708	**9,708**
Wiley-Blackwell Online Books		405	**405**
その他	1,185	1,154	**2,339**
合計	**2,133**	**21,721**	**23,854**

契約データベース一覧

- ABSEES
- ASFA
- Biological Science Collection
- Book Review Digest
- CAB Abstracts
- CINAHL
- CNKI（中国学術文献オンラインサービス）
- EconLit
- Global Health
- Humanities Abstracts
- Index to Foreign Legal Periodicals
- INSPEC
- International Political Science Abstracts
- JDreamIII
- Journal Citation Reports
- LexisNexis
- MathSciNet
- Medline
- MLA International Bibliography / Directory of Periodicals
- Oxford English Dictionary
- Oxford Reference
- ProQuest Dissertations & Theses
- PsycINFO
- Reaxys
- SciFinder（Academic）
- Sociological Abstracts
- Ulrichsweb
- UpToDate
- Web of Science Core Collection
- Zoological Record
- 法情報総合データベース（第一法規）
- 医学中央雑誌
- ジャパンナレッジプラス Lib
- LEX/DB インターネット（TKC）
- 日経 BP 記事検索サービス
- 日経テレコン 21

（H28.3.31 現在）

利用統計

平成 27 年度利用統計

区分	入館者数			貸出統計			相互協力				学内 ILL		レファレンス件数
	学内	学外	計	学生	その他	計	複写依頼	複写受付	貸借依頼	貸借受付	依頼	受付	
附属図書館（本館）	435,298	53,988	**489,286**	138,998	43,180	**182,178**	1,236	4,362	652	1,630	85	99	808
附属図書館（北図書館）	706,821	16,778	**723,599**	138,853	21,179	**160,032**	221	113	65	73	41	17	1,423
文学研究科・文学部図書室	4,041	38	**4,079**	1,015	554	**1,569**	1,388	555	579	138	41	25	558
経済学研究科・経済学部図書室	14,785	38	**14,823**	992	120	**1,112**	–	–	–	–	–	–	36
医学研究科・医学部図書館	56,392	415	**56,807**	9,529	1,796	**11,325**	1,041	1,895	10	17	64	97	258
歯学研究科・歯学部図書室	28,552	160	**28,712**	4,827	1,658	**6,485**	27	303	2	8	7	21	864
工学研究院図書室	112,367	130	**112,497**	20,556	3,226	**23,782**	128	457	52	23	40	29	453
獣医学研究科・獣医学部図書室	–	20	**20**	1,977	584	**2,561**	52	213	5	9	17	28	–
水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室	36,304	147	**36,451**	7,377	807	**8,184**	66	370	195	153	28	71	462
地球環境科学研究院図書室	2,520	18	**2,538**	793	219	**1,012**	86	49	29	7	29	8	70
理学研究院・理学院・理学部図書室	13,397	–	**13,397**	5,556	2,786	**8,342**	260	426	99	7	60	55	153
薬学研究院・薬学部図書室	24,975	9	**24,984**	3,174	297	**3,471**	31	45	0	2	2	19	–
農学研究院・農学院・農学部図書室	46,463	42	**46,505**	7,173	762	**7,935**	157	645	21	55	37	46	818
教育学部・大学院教育学院・教育学研究院図書室	5,076	–	**5,076**	376	180	**556**	–	–	–	–	–	–	–
保健科学研究院図書室	42,287	168	**42,455**	4,126	141	**4,267**	454	317	9	5	69	15	180
低温科学研究所図書室	364	5	**369**	15	73	**88**	15	42	1	5	13	6	123
北キャンパス図書室	3,858	5	**3,863**	113	78	**191**	20	127	17	1	22	19	79
計	**1,533,500**	**71,961**	**1,605,461**	**345,450**	**77,640**	**423,090**	**5,182**	**9,919**	**1,736**	**2,133**	**555**	**555**	**6,285**

経済学部・教育学部は相互協力を附属図書館が担当

主要な電子ジャーナルのアクセス件数（平成 27 年度）

出版社系パッケージ	件数
Elsevier（ScienceDirect）	**1,033,860**
Wiley-Blackwell（Wiley Interscience）	**341,909**
Springer（Springer LINK）	**181,094**
Oxford Journals	**68,430**
IEL/IEEE Electronic Library	**34,120**
Cambridge Journals Online	**11,762**
その他	**1,247,699**
小計	**2,918,874**
アグリゲータ系パッケージ	**件数**
メディカルオンライン	**89,072**
ProQuest	**23,788**
JSTOR	**17,053**
EBSCO Academic Search Premier	**13,778**
Hein Online Standard	**4,544**
その他	**97,920**
小計	**246,155**
合計	**3,165,029**

主要なデータベースのアクセス件数（上位 15 データベース）（平成 27 年度）

データベース名	件数
SciFinder（Academic）	**264,078**
Web of Science Core Collection	**167,886**
CNKI（中国学術文献オンラインサービス）	**164,242**
医学中央雑誌	**154,018**
日経テレコン 21	**93,123**
MathSciNet	**69,914**
Reaxys	**50,769**
ジャパンナレッジ Lib	**49,063**
Medline	**46,400**
日経 BP 記事検索サービス	**30,660**
LEX/DB インターネット（TKC）	**9,968**
UpToDate	**7,667**
LexisNexis	**7,070**
ASFA	**5,149**
Journal Citation Reports	**4,940**
その他	**46,054**
合計	**1,171,001**

図書館 HP 等の利用

区分	学内	学外	計
図書館 HP のアクセス数	1,185,513	7,138,107	**8,323,620**
OPAC の検索回数	1,328,948	575,454	**1,904,402**
HUSCAP ダウンロード件数	49,066	10,196,234	**10,245,300**
北方資料データベースアクセス件数	171,842	3,487,999	**3,659,841**
Facebook 総いいね数			**2,376**
LINE @お友だち数			**1,042**

（H28.3.31 現在）

図書館委員会名簿

平成 28 年度図書館委員会委員名簿

平成 28 年 4 月 1 日現在

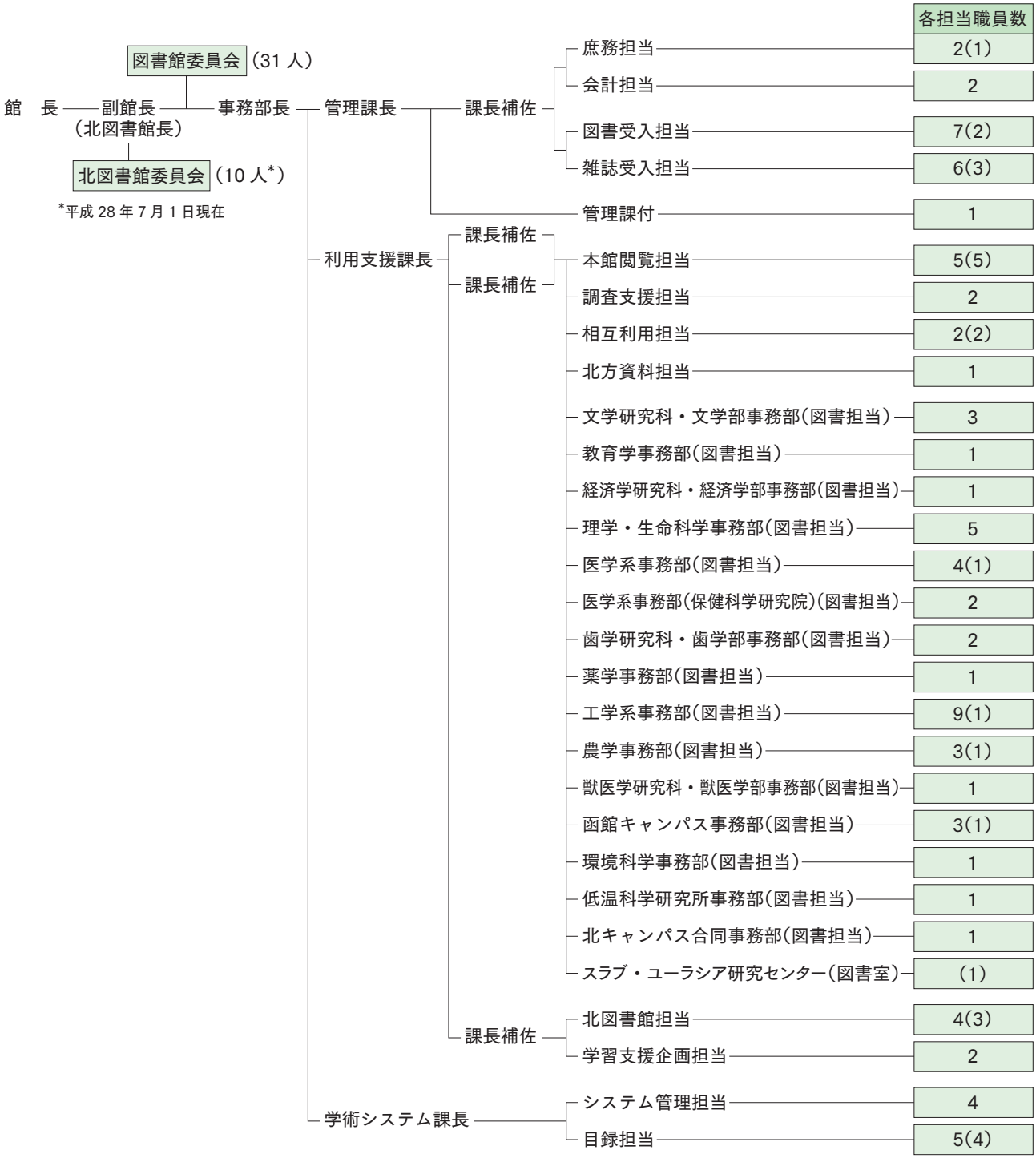
所　属	職　名	氏　名
理事・副学長	館　長	新田孝彦
文学研究科	副館長	望月恒子
文学研究科	教　授	池田証壽
法学研究科	教　授	嶋　拓哉
経済学研究科	教　授	西部　忠
医学研究科	教　授	岩永敏彦
歯学研究科	准教授	髙橋　茂
工学研究院	教　授	岡部　聡
獣医学研究科	准教授	岡松正敏
情報科学研究科	准教授	土橋宜典
水産科学研究院	教　授	高津哲也
地球環境科学研究院	准教授	藤井賢彦
理学研究院	教　授	古屋正人
薬学研究院	准教授	堺谷政弘
農学研究院	教　授	近藤　巧
先端生命科学研究院	准教授	福井彰雅
教育学研究院	教　授	大野栄三
メディア・コミュニケーション研究院	教　授	長井裕子
保健科学研究院	教　授	村田和香
公共政策学連携研究部	教　授	辻　康夫
北海道大学病院	教　授	坂本直哉
低温科学研究所	准教授	田中亮一
電子科学研究所	准教授	藤原英樹
遺伝子病制御研究所	准教授	北村秀光
触媒科学研究所	教　授	長谷川淳也
スラブ・ユーラシア研究センター	教　授	仙石　学
高等教育推進機構	准教授	三上直之
附属図書館事務部	部　長	富田健市
附属図書館管理課	課　長	相原雪乃
附属図書館利用支援課	課　長	樋口秀樹
附属図書館学術システム課	課　長	岸本一志

平成 28 年度北図書館委員会委員名簿

平成 28 年 7 月 1 日現在

所　属	職　名	氏　名
文学研究科	北図書館長	望月恒子
文学研究科	教　授	池田証壽
法学研究科	教　授	嶋　拓哉
メディア・コミュニケーション研究院	教　授	長井裕子
工学研究院	教　授	岡部　聡
農学研究院	教　授	近藤　巧
地球環境科学研究院	准教授	藤井賢彦
高等教育推進機構	准教授	三上直之
文学研究科	教　授	砂田　徹
工学研究院	准教授	佐藤信一郎

組織図（平成 28 年 4 月 1 日現在）



※（　）内は非正規職員、派遣職員及び育児休業代替職員で外数

職　名	事務部長	課　長	課長補佐	係　長	係員等	合　計
計	1 人	3 人	4 人	28 人	53（25）人	89（25）人

※（　）内は非正規職員、派遣職員及び育児休業代替職員で外数

人事往来（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

【平成 27 年 4 月 1 日付発令】

［採用・昇任・配置換等］

相　原　雪　乃　附属図書館管理課長［情報・システム研究機構国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長］

岸　本　一　志　附属図書館学術システム課長[北見工業大学情報図書課長]

菊　池　満　史　附属図書館利用支援課課長補佐［附属図書館利用支援課付係長（医学系事務部）］

松　尾　博　朋　附属図書館利用支援課課長補佐［附属図書館利用支援課付係長（薬学事務部）］

小　林　泰　名　附属図書館管理課係長（図書受入担当）［附属図書館利用支援課係長（相互利用担当）］

中　條　将　喜　附属図書館利用支援課係長（相互利用担当）［附属図書館学術システム課付係長］

小　林　流美子　附属図書館利用支援課係長（北方資料担当）［附属図書館利用支援課付係長（函館キャンパス事務部）］

綾　田　陽　子　附属図書館利用支援課係長（北図書館担当）［千葉大学附属図書館利用支援企画課アカデミック・リンクグループ専門職員］

竹　鼻　敏　治　附属図書館利用支援課付係長（経済学研究科・経済学部事務部）［附属図書館利用支援課付係長（農学事務部）］

田　邉　千　雪　附属図書館利用支援課付係長（医学系事務部）［附属図書館利用支援課付係長（北キャンパス合同事務部）］

川　村　　幸　附属図書館利用支援課付係長（薬学事務部）［附属図書館利用支援課付係長（低温科学研究所事務部）］

猿　橋　キヨミ　附属図書館利用支援課付係長（農学事務部）［附属図書館利用支援課係長（北方資料担当）］

長　井　伸　一　附属図書館利用支援課付係長（環境科学事務部）［附属図書館管理課係長（図書受入担当）］

児　玉　陽　子　附属図書館利用支援課付係長（低温科学研究所事務部）［国立高等専門学校機構釧路工業高等専門学校総務課図書係長］

菊　池　健　二　附属図書館利用支援課付係長（北キャンパス合同事務部）［附属図書館利用支援課付係長（環境科学事務部）］

平　野　　知　附属図書館利用支援課付係長（函館キャンパス事務部）［附属図書館利用支援課付（理学・生命科学事務部）］

松　尾　真木子　附属図書館学術システム課係長（目録担当）［附属図書館学術システム課係長（システム管理担当）］

鈴　木　竜　一　附属図書館管理課（会計担当）［国立高等専門学校機構釧路工業高等専門学校総務課施設係］

三　隅　健　一　附属図書館管理課（図書受入担当）［附属図書館学術システム課（システム管理担当）］

芝　　翔太郎　附属図書館管理課（雑誌受入担当）［附属図書館利用支援課（本館閲覧担当）］

久　米　未希子　附属図書館利用支援課付（文学研究科・文学部事務部）［附属図書館利用支援課付（理学・生命科学事務部）］

石　丸　　恵　附属図書館利用支援課付（理学・生命科学事務部）［附属図書館利用支援課付（工学系事務部）］

佐　藤　信　世　附属図書館利用支援課付（理学・生命科学事務部）［附属図書館利用支援課付（文学研究科・文学部事務部）］

守　内　美　月　附属図書館利用支援課付（歯学研究科・歯学部事務部）［附属図書館管理課（雑誌受入担当）］

神　谷　　実　附属図書館利用支援課付（工学系事務部）［附属図書館管理課（図書受入担当）］

笠　井　美由紀　附属図書館学術システム課（システム管理担当）［附属図書館利用支援課付（歯学研究科・歯学部事務部）］

近　藤　絵理子　附属図書館学術システム課（システム管理担当）［附属図書館管理課（雑誌受入担当）］

嶺　野　智　康　附属図書館学術システム課（目録担当）［附属図書館管理課（雑誌受入担当）］

山　形　知　実　附属図書館管理課（雑誌受入担当）

前　田　　隼　附属図書館利用支援課（本館閲覧担当）

首　藤　佳　子　附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（理学・生命科学事務部）

川　端　美　明　附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（工学系事務部）［附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（理学・生命科学事務部）］

福盛田　　勉　附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（農学事務部）［附属図書館利用支援課付（嘱託職員）］

［出向］

横　井　有　紀　室蘭工業大学図書・情報事務室ユニット・マネジャー［附属図書館利用支援課係長（北図書館担当）］

髙　野　直　樹　帯広畜産大学学術情報室長［附属図書館利用支援課付係長（経済学研究科・経済学部事務部）］

纐　纈　直　也　情報・システム研究機構国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課[附属図書館学術システム課(目録担当)]

［転出］

伊　藤　仁　浩　北方生物圏フィールド科学センター主任（会計担当）［附属図書館管理課主任（会計担当）］

平成 28 年 3 月 31 日付発令

［定年］

佐　藤　洋　子　附属図書館管理課係長（庶務担当）

永　山　裕　子　附属図書館利用支援課付（工学系事務部）

［任期満了］

酒　巻　孝　子　附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（医学系事務部）

山　田　　勉　附属図書館利用支援課付（嘱託職員）（工学系事務部）

［辞職］

豊　田　裕　昭　附属図書館利用支援課長（横浜国立大学図書館・情報部図書館情報課長へ）

鵜　澤　和　往　附属図書館管理課課長補佐（旭川医科大学教務部図書館情報課長へ）

加　藤　大　博　附属図書館利用支援課付（医学系事務部）

北海道大学附属図書館年報 2016

発行　平成 28 年 8 月
編集　北海道大学附属図書館
〒 060-0808　札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL：011-706-2967　FAX：011-747-2855
Homepage：http://www.lib.hokudai.ac.jp
Facebook：https://www.facebook.com/hokudailibrary